

授業計画

共通教育科目

2016年度

(平成28年度)



久留米工業大学

目 次

授業科目	ページ	授業科目	ページ
人文社会		言語	
就業のための文章表現技術……………	1	オーラルイングリッシュ……………	23
経済と経営……………	2	オーラル科学技術英語……………	24・25
技術の倫理……………	3	ベーシックイングリッシュ……………	26・27
異文化コミュニケーション……………	4	英語コミュニケーションスキル…	28・29
暮らしと日本経済……………	5	科学技術英語……………	30
情報・メディア・文化……………	6	中級オーラルイングリッシュ……………	31
日本国憲法……………	7	上級オーラルイングリッシュ……………	32
就業のための社会と経済の理解……………	8	英語資格試験等対策講座……………	33
就業のための企業と経営の理解……………	9	韓国語……………	34
自然科学		中国語……………	35
数学基礎(情)……………	10	保健体育	
微分積分学(機/交/建/情)……………	11～14	生涯スポーツⅠ……………	36
線形代数学(建)……………	15	生涯スポーツⅡ……………	37
線形代数学Ⅰ(情)……………	16	生涯スポーツⅢ(機/交)……………	38
線形代数学Ⅱ(情)……………	17	生涯スポーツⅣ(機)……………	39
物理学Ⅰ(機/交/建/情)……………	18	健康科学……………	40
物理学Ⅱ(機/交)……………	19	総合教育	
物理学実験(機/交/建)……………	20	就業力基礎……………	41・42
現代物理学(交)……………	21	地域の歴史と課題……………	43
化学の基礎(機/交)……………	22	地域の農業と工学的アプローチ……………	44
		工学入門……………	45

授 業 科 目 名	就業のための文章表現技術		科目コード	12110
英 字 科 目 名	Writing Techniques for Job Hunting		コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・選択	セメスター(履修学年・学期)	1・2セメスター (1年次・前期または後期)	
代 表 教 員	異靖昭	単 位	2単位	
担 当 教 員	異靖昭(Yasuaki TATSUMI)			
使 用 テ キ ス ト	特に定めず、講義中は配布のプリントを中心に進めます。			
授 業 の 概 要	レポート・論文作成や就職活動のために、わかりやすい文章の書き方を学びます。毎回の講義後半で、その日のトピックに関する演習問題や文章の作成を行ってもらい、その提出をもって出席とします。			
到 達 目 標	1. 「読んでもらえる履歴書」が正しい形式で書ける。 2. 「主張の明確なレポート」を正しい形式で書ける。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	履歴書：自己PRのための自己分析	<input type="checkbox"/> 自己分析のためのサイトから自己分析ができる。		
(2)	履歴書：自己PRを書いてみる	<input type="checkbox"/> アピールポイントが明確な自己PRが書ける。		
(3)	履歴書：自己PRを複数用意する	<input type="checkbox"/> 社会人基礎力につながる自己PRが書ける。		
(4)	履歴書：学生時代に力を注いだこと	<input type="checkbox"/> 「人柄」を伝えるエピソードが書ける。		
(5)	履歴書：学歴・職歴欄の書き方	<input type="checkbox"/> 正確に学歴・職歴欄が書ける。		
(6)	履歴書：手書きで清書！	<input type="checkbox"/> 丁寧な字で履歴書が書ける。		
(7)	レポート：参考資料Aを読む	<input type="checkbox"/> ワンワードワンミーニングの原則		
(8)	レポート：参考資料Bを読む	<input type="checkbox"/> 結論を最初に書く。		
(9)	レポート：参考資料Cを読む	<input type="checkbox"/> 短い文を書く。		
(10)	レポート：参考資料Dを読む	<input type="checkbox"/> 修飾語のつながりをわかりやすく。		
(11)	レポート：参考資料Eを読む	<input type="checkbox"/> パラレリズムの原則		
(12)	レポート：参考資料Fを読む	<input type="checkbox"/> 語句の重複を避ける。		
(13)	レポート：主題文を書く。	<input type="checkbox"/> レポートの主張を明確にかける。		
(14)	レポート：アウトラインを書く	<input type="checkbox"/> レポートの骨子となるアウトラインが書ける。		
(15)	レポート：レポートを完成させる。	<input type="checkbox"/> 正しい形式のレポートが書ける。		
履 修 上 の 注 意	毎回出席して、演習問題を提出する事を義務付けます。演習問題は試験ではないので、学生同士で相談したり、教員(異)に質問して解いたりしても構いません。			
準 備 学 習 の 内 容	授業終了時に示す課題(紙 or eラーニング)を必ず提出してください。			
参 考 図 書	篠田義明『コミュニケーション技術-実用的文章の書き方』			
学 習 相 談	6号館4F 異研究室			
成 績 評 価 方 法	講義中演習問題(40%)、手書き履歴書(30%)、レポート(30%)			
関 連 科 目	就業指導			

授 業 科 目 名	経 済 と 経 営	科 目 コー ド	12120
英 字 科 目 名	Economy and Business Management	コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・選択	セメスター(履修学年・学期)	3～6セメスター(2年次・前期～3年次・後期)
代 表 教 員	異靖昭	単 位	2単位
担 当 教 員	異靖昭(Yasuaki TATSUMI)		
使 用 テ キ ス ト	後述の参考書の内容で進めますが、講義中は配布のプリントを主に使用します。		
授 業 の 概 要	多くの企業にとって、自社の製品にどのような価格をつけるのかというのは大きな問題です。ここでは、企業の経営について、トピックを価格戦略に絞り、ミクロ経済学の道具を用いて、その意味を学びます。毎回講義の後半で、その日の内容の演習問題を行い、回答の提出をもって出席とします。		
到 達 目 標	1. 企業の経営の概略が理解できる。 2. 企業の計経営に関連したキーワードを自分の言葉で説明できる。		
授 業 計 画			
	講 義 内 容	修得すべき項目	
(1)	需要曲線 1	<input type="checkbox"/> 需要曲線の意味がわかる。	
(2)	需要曲線 2	<input type="checkbox"/> 需要関数のグラフが描ける。	
(3)	消費者余剰	<input type="checkbox"/> 消費者が市場に参加するメリットがわかる。	
(4)	需要の価格弾力性 1	<input type="checkbox"/> 需要の価格弾力性の意味がわかる。	
(5)	需要の価格弾力性 2	<input type="checkbox"/> 需要の価格弾力性と支出額との関係がわかる。	
(6)	安売りは得なのか	<input type="checkbox"/> 薄利多売戦略と高マージン戦略がわかる。	
(7)	価格弾力性に応じた価格差別 1	<input type="checkbox"/> 子供料金、レディースデー等の意味がわかる。	
(8)	価格弾力性に応じた価格差別 2	<input type="checkbox"/> 多様な安売りの類型わかる。	
(9)	中間試験とその解説	<input type="checkbox"/> 中間試験(40分)を行った後、解説を行う。	
(10)	価格差別とその規制	<input type="checkbox"/> ダンピング規制の是非が議論できる。	
(11)	時間差を利用した価格差別	<input type="checkbox"/> 家電、書籍などの価格設定がわかる。	
(12)	自己選択の理論	<input type="checkbox"/> 製品多様化による価格差別がわかる。	
(13)	2部料金性	<input type="checkbox"/> コピー機で儲かる理由がわかる。	
(14)	非線形価格	<input type="checkbox"/> 携帯電話の料金体系の意味がわかる。	
(15)	情報化と非線形価格	<input type="checkbox"/> 電子マネーを使った非線形価格がわかる。	
履 修 上 の 注 意	毎回出席して、演習問題を提出する事を義務付けます。演習問題は試験ではないので、学生同士で相談したり、教員(異)に質問して解いたりしても構いません。		
準 備 学 習 の 内 容	授業終了時に示す宿題(紙 or eラーニング)を必ず提出してください。		
参 考 図 書	伊藤元重『ビジネス・エコノミクス』		
学 習 相 談	6号館 4F 異研究室,		
成 績 評 価 方 法	講義中演習問題及び宿題(40%), 中間試験(30%), 期末試験(30%)		
関 連 科 目	経済と経営⇔暮らしと日本経済		

授 業 科 目 名	異文化コミュニケーション	科目コード	12040
英 字 科 目 名	Cross-cultural Communication	コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通教育科目・選択	セ メ ス タ ー (履 修 学 年・学 期)	3～6 セメスター (2 年次・前期～3 年次・後期)
代 表 教 員	松中 完二	単 位	2 単位
担 当 教 員	松中 完二(Kanji MATSUNAKA)		
使 用 テ キ ス ト	ナンシー坂本 <i>POLITE FICTIONS in collision</i> (異文化の理解と誤解)(金星堂)		
授 業 の 概 要	本講義では、日本人とアメリカ人のコミュニケーションスタイルの違いや、そうした違いを乗り越える有効な手段と表現法について学び考え、理想的な相互コミュニケーションのあり方について考察、解説、議論する。		
到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平易な英文を辞書なしで速読し、理解できるようになる。 2. 異文化理解の促進へとつながる英語と英語圏、日本語圏での文化的背景や価値観、社会通念などの相違を知る。 3. 異文化理解と言語交流の在り方について見識を深め、コミュニケーション学に興味を持つ。 		
授 業 計 画			
講 義 内 容		修 得 す べ き 項 目	
(1)	講義の概要について説明。	<input type="checkbox"/> 授業回数と授業の進め方について理解する。	
(2)	Chapter1 You & I are equals	<input type="checkbox"/> 日米間における平等の概念について解説、考察する。	
(3)	〃	<input type="checkbox"/> 〃	
(4)	〃	<input type="checkbox"/> 〃	
(5)	Chapter2 You & I are Close Friends	<input type="checkbox"/> 日米間における友情の概念について解説、考察する。	
(6)	〃	<input type="checkbox"/> 〃	
(7)	〃	<input type="checkbox"/> 〃	
(8)	Chapter3 You & I are Relaxed	<input type="checkbox"/> 日米間における待遇の概念について解説、考察する。	
(9)	〃	<input type="checkbox"/> 〃	
(10)	〃	<input type="checkbox"/> 〃	
(11)	Chapter4 You & I are Independent	<input type="checkbox"/> 日米間における自立の概念について解説、考察する。	
(12)	〃	<input type="checkbox"/> 〃	
(13)	〃	<input type="checkbox"/> 〃	
(14)	Chapter5 People as Individuals	<input type="checkbox"/> 日米間における個人の概念について解説、考察する。	
(15)	総括	<input type="checkbox"/> 授業全体のまとめ。	
履 修 上 の 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ・出席回数、授業参加の態度が最重要。・卓上型の辞書(電子辞書も可)は必須。 ・進度に応じて授業計画の進度や実施単元は変更する場合がある。 		
準 備 学 習 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・予習、復習は必須。・毎回授業の最初に前回授業内容に係る内容理解のテストを実施するので復習しておくこと。 		
参 考 図 書	石井畝、久米昭元、岡部朗一『異文化コミュニケーション』有斐閣		
学 習 相 談	6 号館 4 階 松中研究室 e-mail:matunaka@kurume-it.ac.jp		
成 績 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・全授業の 1/3 以上を欠席すると自動的に不可となる。 ・ペーパーテスト 60%、課ごとの単語テスト 40%を試験の点数とする。 		
関 連 科 目	情報・メディア・文化、ベーシックイングリッシュなど。		

授 業 科 目 名	暮らしと日本経済		科目コード	12610
英 字 科 目 名	Japanese Economy and Living		コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・選択	セメスター(履修学年・学期)	3～6セメスター (2年次・前期～3年次・後期)	
代 表 教 員	巽 靖昭	単 位	2単位	
担 当 教 員	巽 靖昭 (Yasuaki TATSUMI)			
使 用 テ キ ス ト	後述の参考書の内容で進めますが、講義中は配布のプリントを主に使用します。			
授 業 の 概 要	ここでは国全体の経済を扱うマクロ経済学を学びます。日本経済全体で何が起きているのかを学び、テレビや新聞の経済ニュースがわかるようになります。毎回講義の後半で、その日の内容の演習問題を行い、回答の提出をもって出席とします。			
到 達 目 標	1. 日本経済に関連したニュースの概要が理解できる。 2. 日本経済に関連したキーワードを自分の言葉で説明できる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容			修得すべき項目	
(1)	GDP (国内総生産) 1		<input type="checkbox"/> GDP の意味、GDP に入るもの・入らないものがわかる。	
(2)	GDP (国内総生産) 2		<input type="checkbox"/> 名目・実質 GDP、GDP の 3 面等価がわかる。	
(3)	GDP (国内総生産) 3		<input type="checkbox"/> 国の貯蓄・借金、貿易黒字・赤字がわかる。	
(4)	企業の赤字と貿易赤字 1		<input type="checkbox"/> 企業の損益計算書がわかる。	
(5)	企業の赤字と貿易赤字 2		<input type="checkbox"/> 国際収支表がわかる。	
(6)	企業の赤字と貿易赤字 3		<input type="checkbox"/> 貿易赤字が悪くないことがわかる。	
(7)	中間試験とその解説		<input type="checkbox"/> 中間試験 (40 分) を行った後、解説を行う。	
(8)	国債 1		<input type="checkbox"/> 日本の国債金利が低い理由 (債券価格と金利の関係)	
(9)	国債 2		<input type="checkbox"/> 国債と日本の財政状況がわかる。	
(10)	財政政策 1		<input type="checkbox"/> 商品の市場がバランスする関係 (IS 曲線) がわかる。	
(11)	財政政策 2		<input type="checkbox"/> 政府が行う景気対策 (減税、公共投資) わかる。	
(12)	金融政策 1		<input type="checkbox"/> 金融市場がバランスする関係 (LM 曲線) がわかる。	
(13)	金融政策 2		<input type="checkbox"/> 日本銀行が行う景気対策がわかる。	
(14)	財政政策と金融政策 1		<input type="checkbox"/> 海外を考えると、どうなるかわかる。	
(15)	財政政策と金融政策 2		<input type="checkbox"/> 現在の日本の状況 (流動性の罫) がわかる。	
履 修 上 の 注 意	毎回出席して、演習問題を提出する事を義務付けます。演習問題は試験ではないので、学生同士で相談したり、教員 (巽) に質問して解いたりしても構いません。			
準 備 学 習 の 内 容	授業終了時に示す宿題 (紙 or e ラーニング) を必ず提出してください。			
参 考 図 書	菅原晃『高校生からわかるマクロ・ミクロ経済学』			
学 習 相 談	6 号館 4F, 巽研究室,			
成 績 評 価 方 法	講義中演習問題及び宿題(30%), 中間試験 (30%), 期末試験 (30%)			
関 連 科 目	経済と経営⇔暮らしと日本経済			

授 業 科 目 名	情報・メディア・文化	科目コード	12060
英 字 科 目 名	Information, Media and Culture	コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・選択	セメスター(履修学年・学期)	3～6 セメスター (2年次・前期～3年次・後期)
代 表 教 員	松中 完二	単 位	2単位
担 当 教 員	松中 完二 (Kanji MATSUNAKA)		
使 用 テ キ ス ト	西田ひろ子 <i>AMERICAN COMMUNICATION PATTERNS</i> (金星堂)		
授 業 の 概 要	本講義では、メディアが発信する日本人像やアメリカ人像の情報について学ぶとともに、ステレオタイプと偏見についても考察します。そして日米文化の相違を学びながら、有効な英語コミュニケーションのあり方について講義し、共に考えます。		
到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学1年生レベルの平易な英文を辞書なしで速読し、理解できるようになる。 2. 英語圏、日本語圏での文化的背景や価値観、社会通念などの相違に気づき、そうした相違を乗り越えた異文化理解と言語交流の理想的な在り方についても見識を深める。 		
授 業 計 画			
	講 義 内 容	修得すべき項目	
(1)	講義の概要について説明。	<input type="checkbox"/> 授業回数と授業の進め方について理解する。	
(2)	Unit1: Receiving a gift	<input type="checkbox"/> 日米間における贈答の相違について解説、考察します。	
(3)	Unit2: Introduction & greetings	<input type="checkbox"/> 日米間における挨拶の相違について解説、考察します。	
(4)	Unit3: "Make yourself at home"	<input type="checkbox"/> 日米間における接待の相違について解説、考察します。	
(5)	Unit4: Embarrassing difficulties	<input type="checkbox"/> 日米間におけるマナーの相違について解説、考察します。	
(6)	Unit5: What to call a professor	<input type="checkbox"/> 日米間における先生の相違について解説、考察します。	
(7)	Unit6: Eye contact	<input type="checkbox"/> 日米間における目配せの相違について解説、考察します。	
(8)	Unit7: Silence	<input type="checkbox"/> 日米間における沈黙の相違について解説、考察します。	
(9)	Unit8: Japanese smiles	<input type="checkbox"/> 日米間における日本人の微笑について解説、考察します。	
(10)	Unit9: American smiles	<input type="checkbox"/> 日米間における米国人の微笑について解説、考察します。	
(11)	Unit10: Content or human relation?	<input type="checkbox"/> 日米間における義理人情の相違について解説、考察します。	
(12)	Unit11: Speech organization	<input type="checkbox"/> 日米間におけるスピーチの相違について解説、考察します。	
(13)	Unit12: How to begins presentation	<input type="checkbox"/> 日米間におけるプレゼンの相違について解説、考察します。	
(14)	Unit13: What do Americans do after work?	<input type="checkbox"/> 日米間における公私の相違について解説、考察します。	
(15)	総括	<input type="checkbox"/> 全体のまとめ	
履 修 上 の 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席回数、授業参加の態度が最重要。 ・ 卓上型の辞書(電子辞書も可)は必須です。 ・ 進度に応じて授業計画の進度や実施単元は変更する場合があります。 		
準 備 学 習 の 内 容	毎回授業の最初に前回授業内容に係る内容理解のテストを実施するので復習しておくこと。		
参 考 図 書	『アメリカ人と日本人』今井康夫 (創流出版)		
学 習 相 談	6号館4階 松中研究室 e-mail:matunaka@kurume-it.ac.jp		
成 績 評 価 方 法	ペーパーテスト 60%、内容理解テスト 40%。		
関 連 科 目	異文化コミュニケーション、ベーシックイングリッシュなど		

授 業 科 目 名	日本国憲法		科目コード	12100
英 字 科 目 名	The Constitution of Japan		コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・選択	セメスター(履修学年・学期)	3～6セメスター (2年次・前期～3年次・後期)	
代 表 教 員	吉谷 修	単 位	2単位	
担 当 教 員	西 貴 倫 (Takanori NISHI)			
使 用 テ キ ス ト	初宿正典、大沢秀介、高橋正俊、常本照樹、高井裕之編著『目で見る憲法 [第 4 版]』有斐閣、2011年。			
授 業 の 概 要	日本国憲法は国の最高法規として国民生活の基底を支えている。本講では、その憲法の意義、憲法の規定する国の統治のしくみ、国が保障すべき国民の権利について、判例の蓄積をふまえつつ、立憲主義の観点から講義する。			
到 達 目 標	(1) 憲法の役割について、立憲主義の観点から理解する。 (2) 憲法の保障する国民の権利とその意義について理解する。 (3) 日本国憲法のもと、国民の権利がどのように保障されてきたか理解する。			
授 業 計 画				
講 義 内 容			修得すべき項目	
(1)	憲法とは何か		<input type="checkbox"/> 立憲主義について理解する。	
(2)	近代日本と憲法		<input type="checkbox"/> 日本国憲法の成立について理解する。	
(3)	日本国憲法の原理①		<input type="checkbox"/> 国民主権について理解する。	
(4)	日本国憲法の原理②		<input type="checkbox"/> 平和主義について理解する。	
(5)	日本国憲法の原理③		<input type="checkbox"/> 基本的人権について理解する。	
(6)	憲法保障		<input type="checkbox"/> 憲法が憲法それ自体を守るしくみについて理解する。	
(7)	権力分立		<input type="checkbox"/> 権力分立のしくみについて理解する。	
(8)	違憲審査権		<input type="checkbox"/> 裁判所の違憲審査について理解する。	
(9)	憲法の効力		<input type="checkbox"/> 憲法が規定する国家の活動範囲について理解する。	
(10)	精神的自由①		<input type="checkbox"/> 思想・良心の自由と信教の自由について理解する。	
(11)	精神的自由②		<input type="checkbox"/> 表現の自由について理解する。	
(12)	経済的自由		<input type="checkbox"/> 職業の自由、移動の自由、財産権について理解する。	
(13)	社会権①		<input type="checkbox"/> 生存権について理解する。	
(14)	社会権②		<input type="checkbox"/> 教育を受ける権利、労働基本権について理解する。	
(15)	人身の自由		<input type="checkbox"/> 人身の自由について理解する。	
履 修 上 の 注 意	講義は口述および板書を中心に進める。 そのため、受講者にはメモやノートを取るよう心がけられたい。			
準 備 学 習 の 内 容	各回の受講に際しては、事前にテキストの該当箇所に通しておくこと。 また、受講後はメモやノート、配布資料を見直すようにされたい。			
参 考 図 書	樋口陽一『五訂 憲法入門』勁草書房、2013年。			
学 習 相 談	講義後に応じる。			
成 績 評 価 方 法	期末試験(100%)で評価する。			
関 連 科 目				

授 業 科 目 名	就業のための社会と経済の理解		科目コード	12130
英 字 科 目 名	Studies of Societies and Economies of Job Hunting and Working		コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・選択	セメスター(履修学年・学期)	5セメスター(3年次・前期)	
代 表 教 員	巽 靖昭	単 位	2単位	
担 当 教 員	巽 靖昭(Yasuaki TATSUMI)			
使用テキスト	特に定めない。			
授 業 の 概 要	「社会と経済」に関する経済記事や新聞などを講義中に読み、要約したり、自分の意見をまとめたりします。扱うテーマについては、その時の重要なテーマに適宜変更します。3-4週まとまったテーマについて学習した後、グループディスカッションを行います。			
到 達 目 標	1. 講義中に提示される社会と経済に関するテーマについて自分の意見を体系的に述べることができる。 2. 多くの企業の新卒採用で用いられるグループディスカッションに積極的に参加できる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	少子高齢化問題 1	<input type="checkbox"/> 高齢・人口減少社会の現実と対応。		
(2)	少子高齢化問題 2	<input type="checkbox"/> 少子高齢化は本当に問題なのか？		
(3)	少子高齢化問題 3	<input type="checkbox"/> 少子高齢化と地域格差		
(4)	グループディスカッション	<input type="checkbox"/> 少子高齢化問題についてディスカッションを行う。		
(5)	エネルギー問題 1	<input type="checkbox"/> 日本のエネルギー政策		
(6)	エネルギー問題 2	<input type="checkbox"/> 原子力発電所の今後		
(7)	エネルギー問題 3	<input type="checkbox"/> 再生エネルギー1		
(8)	エネルギー問題 4	<input type="checkbox"/> 再生エネルギー2		
(9)	グループディスカッション	<input type="checkbox"/> エネルギー問題についてディスカッションを行う。		
(10)	新技術と規制 1	<input type="checkbox"/> ドローンと規制		
(11)	新技術と規制 2	<input type="checkbox"/> 自動車の自動運転と規制 1		
(12)	新技術と規制 3	<input type="checkbox"/> 自動車の自動運転と規制 2		
(13)	新技術と規制 4	<input type="checkbox"/> 3D プリンターと規制		
(14)	グループディスカッション	<input type="checkbox"/> 規制と新技術についてディスカッションを行う。		
(15)	知識確認テストとその解説	<input type="checkbox"/> 知識確認テストでこれまでの知識を確認する。		
履 修 上 の 注 意	授業終了時の課題提出をもって出席とみなします。			
準 備 学 習 の 内 容	授業終了時に示す課題（紙 or e ラーニング）を必ず提出してください。			
参 考 図 書	週間東洋経済、週間ダイヤモンド、日経ビジネス、日本経済新聞			
学 習 相 談	6号館 4F 巽研究室、			
成 績 評 価 方 法	毎回の課題（60%）知識確認テスト（40%）			
関 連 科 目	就業のための社会と経済の理解→就業のための企業と経営の理解			

授 業 科 目 名	就業のための企業と経営の理解		科目コード	12140
英 字 科 目 名	Studies of Companies and Management for Job Hunting and Working		コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・選択	セメスター(履修学年・学期)	6セメスター(3年次・後期)	
代 表 教 員	巽 靖昭	単 位	2単位	
担 当 教 員	巽 靖昭 (Yasuaki TATSUMI)			
使用テキスト	特に定めない。			
授 業 の 概 要	「企業と経営」に関する経済記事や新聞などを講義中に読み、要約したり、自分の意見をまとめたりします。扱うテーマについては、その時の重要なテーマに適宜変更します。3-4週まとまったテーマについて学習した後、グループディスカッションを行います。			
到 達 目 標	1. 講義中に提示される企業と経営に関するテーマについて自分の意見が述べられる。 2. 多くの企業の新卒採用で用いられるグループディスカッションに慣れる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	シェアリングエコノミー1	<input type="checkbox"/> Uber によるタクシー業		
(2)	シェアリングエコノミー2	<input type="checkbox"/> Airbnb の旅館業界へのインパクト		
(3)	シェアリングエコノミー3	<input type="checkbox"/> 日本におけるシェアリングエコノミー		
(4)	グループディスカッション	<input type="checkbox"/> シェアリングエコノミーに関するグループディスカッション		
(5)	農業・漁業 1	<input type="checkbox"/> 大規模農業		
(6)	農業・漁業 2	<input type="checkbox"/> 「マイ・ファーム」による農業		
(7)	農業・漁業 3	<input type="checkbox"/> 植物工場		
(8)	農業・漁業 4	<input type="checkbox"/> 日本の漁業		
(9)	グループディスカッション	<input type="checkbox"/> 農業・漁業についてのディスカッション		
(10)	製造業 1	<input type="checkbox"/> 外国為替市場と直接投資		
(11)	製造業 2	<input type="checkbox"/> ベンチャーキャピタル		
(12)	製造業 3	<input type="checkbox"/> 航空機産業		
(13)	製造業 4	<input type="checkbox"/> 自動車産業		
(14)	グループディスカッション	<input type="checkbox"/> 製造業に関するディスカッション		
(15)	知識確認テストとその解説	<input type="checkbox"/> 知識確認テストでこれまでの知識を確認する。		
履 修 上 の 注 意	授業終了時の課題提出をもって出席とみなします。			
準 備 学 習 の 内 容	授業終了時に示す課題（紙 or e ラーニング）を必ず提出してください。			
参 考 図 書	週間東洋経済、週間ダイヤモンド、日経ビジネス、日本経済新聞			
学 習 相 談	6号館 4F 巽研究室、			
成 績 評 価 方 法	毎回の課題（60%）知識確認テスト（40%）			
関 連 科 目	就業のための社会と経済の理解→就業のための企業と経営の理解			

授業科目名	数学基礎		科目コード	12200
英字科目名	Mathematics Fundamental		コース名	
科目区分	共通・必修 (情報)	セメスター (履修学年・学期)		1 セメスター (1 年次・前期)
代表教員	原 幸範 (Yukinori HARA)	単 位		2 単位
担当教員	原 幸範 (Yukinori HARA) 、 佐々木良勝 (Yosikatu Sasaki)			
使用テキスト	『やさしく学べる微分積分』石村園子(著) (共立出版)			
授業の概要	数学における関数の基礎を学び直して、大学数学の入り口である関数論から微積分までを概観します。1 変数関数、三角関数、指数関数、対数関数など高校数学を復習しながら、無理なく大学の数学に馴染めるようにします。大学の数学では全体の構造がどうなっているのかを考えることが重要です。そのような観点に立って、講義を行います。			
到達目標	(1) いろいろな関数 (整数関数、三角関数、指数・対数関数等) の基礎基本を理解する。 (2) 基本事項 (定義、定理等) を確認し、微分・積分法の問題が解答できるようになる。 (3) 高校までに学んだ事項を振り返り、数学的価値を再確認する。と同時に、できる限り多くの演習問題に取り組むことによって、数学的思考力を身に付け、それら数学問題が意味するところを理解する。			
授 業 計 画				
講義内容		修得すべき項目		
(1)	関数の基本と微分・積分までの概観	<input type="checkbox"/> 曲線の概形を描き、囲まれた図形の面積を求める		
(2)	1 変数関数と極限值	<input type="checkbox"/> 整関数や分数関数の極限值を求める		
(3)	1 変数関数の変形	<input type="checkbox"/> 整数関数の変形のいろいろを学ぶ		
(4)	いろいろな関数の標準形	<input type="checkbox"/> 有理関数と無理関数を簡単にする		
(5)	いろいろな関数とそのグラフ	<input type="checkbox"/> 1 変数関数のグラフを描く		
(6)	微分係数と曲線の概形	<input type="checkbox"/> 微分係数を利用して、接線を求める		
(7)	指数関数の基本	<input type="checkbox"/> 指数計算の基本と指数法則		
(8)	指数関数の拡張	<input type="checkbox"/> 指数の拡張とグラフとネピアの数		
(9)	対数関数の基本	<input type="checkbox"/> 対数計算の基本と対数法則		
(10)	対数関数の活用	<input type="checkbox"/> 対数関数のグラフと自然対数		
(11)	三角関数と角度	<input type="checkbox"/> 三角関数の定義と弧度法		
(12)	三角関数の基本	<input type="checkbox"/> 一般角の三角関数の値とグラフ		
(13)	1 変数関数の微分とグラフ	<input type="checkbox"/> 微分係数を利用してグラフを描く		
(14)	曲線の概形	<input type="checkbox"/> 微分や極限を利用して、いろいろな曲線の概形を描く		
(15)	面積と積分法	<input type="checkbox"/> 積分を活用して、図形の面積を求める		
履修上の注意	数学では、まず、基本事項を理解し、多くの演習問題を解き、理解不足の事項については基本を再確認することが重要です。毎回与える「課題レポート」は、理解を深めるためのものです。諦めないで粘り強く取り組んで期限内に提出してください。			
準備学習の内容	配布するプリントの基本問題を解くことによって「考える力」や「理解力」が身につきます。予習プリントと復習テストを中心に、演習問題の解法に丁寧に取り組んでください。			
参考図書	高校 数学 I 、高校 数学 II 、高校数学参考書 など			
学習相談	6 号館 4 階 原 研究室 e-mail : yuk-hr @ kurume-it.ac.jp			
成績評価方法	課題レポート 40% 復習テスト 20% 期末テスト 40%			
関連科目	数学基礎 → 微分積分学			

授 業 科 目 名	微 分 積 分 学		科 目 コード	
英 字 科 目 名	Differential and Integral Calculus		コ ー ス 名	全コース
科 目 区 分	共通・必修（機械）	セメスター(履修学年・学期)	1 セメスター (1 年次・前期)	
代 表 教 員	佐々木 良勝	単 位	2 単位	
担 当 教 員	佐々木 良勝 (Yoshikatsu SASAKI)			
使 用 テ キ ス ト	石村園子「やさしく学べる基礎数学」(共立出版)			
授 業 の 概 要	1 変数関数の微分、積分を学習する。初等関数の演習問題に多く触れることで、工学の基礎となる微積分の基本的概念に習熟する。			
到 達 目 標	(1) 微分の基本的な公式を記述できる。 (2) 初等関数の微分の計算ができる。 (3) 基本的な不定積分を計算できる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	微分の定義 (1)	関数、極限		
(2)	微分の定義 (2)	微分の定義		
(3)	初等関数の微分 (1)	多項式の微分		
(4)	初等関数の微分 (2)	積の微分、商の微分		
(5)	初等関数の微分 (3)	合成関数の微分		
(6)	初等関数の微分 (4)	三角関数の微分		
(7)	初等関数の微分 (5)	指数関数の微分、対数関数の微分		
(8)	初等関数の微分 (6)	逆三角関数の微分		
(9)	微分の応用	接線の方程式、関数の増減		
(10)	不定積分と定積分 (1)	不定積分		
(11)	不定積分と定積分 (2)	定積分、面積		
(12)	不定積分と定積分 (3)	部分積分		
(13)	不定積分と定積分 (4)	置換積分		
(14)	積分の応用 (1)	物理的な問題への応用		
(15)	積分の応用 (2)	回転体の体積		
履 修 上 の 注 意	具体的な問題演習をとおして、計算力を身につけること。			
準 備 学 習 の 内 容	授業後にテキストを見直し、用語や記号を正しく理解し、例題をもう一度自分で解いてみること。			
参 考 図 書	石村園子著「やさしく学べる微分積分」(共立出版)			
学 習 相 談	3 号館 1 階 佐々木研究室			
成 績 評 価 方 法	期末テスト 70%、演習 30%で総合評価			
関 連 科 目	微分積分学 → 解析学 → 応用数学			

授 業 科 目 名	微 分 積 分 学		科目コード	12210
英 字 科 目 名	Differential and Integral Calculus		コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・必修 (交通)	セメスター (履修学年・学期)	1 セメスター (1 年次・前期)	
代 表 教 員	中嶋 康博	単 位	2 単位	
担 当 教 員	中嶋 康博 (Yasuhiro NAKASHIMA)			
使 用 テ キ ス ト	石村園子著「やさしく学べる基礎数学」(共立出版)			
授 業 の 概 要	工学の基礎となる微分と積分について、問題演習をとおして、公式の把握とその適用方法を修得する。前提となる知識はほとんど仮定しないため、内容の理解に応じて授業展開を調整する。			
到 達 目 標	(1) 微分の基本的な公式を記述できる。 (2) 初等関数の微分を計算できる。 (3) 基本的な不定積分を計算できる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	初等関数(1)	三角関数の定義と公式		
(2)	初等関数(2)	三角関数の問題演習		
(3)	初等関数(3)	指数関数の定義と公式		
(4)	初等関数(4)	指数関数の問題演習		
(5)	初等関数(5)	対数関数の定義と公式		
(6)	初等関数(6)	対数関数の問題演習		
(7)	初等関数の微分(1)	多項式の微分、初等関数の微分		
(8)	初等関数の微分(2)	微分の性質、積の微分、合成関数の微分		
(9)	初等関数の微分(3)	微分の複合的な問題演習		
(10)	テイラー展開(1)	テイラー展開、マクローリン展開		
(11)	テイラー展開(2)	具体的な関数のテイラー展開		
(12)	積分(1)	不定積分の計算		
(13)	積分(2)	定積分の計算		
(14)	積分(3)	置換積分、部分積分		
(15)	総復習	これまでの内容の確認と問題演習		
履 修 上 の 注 意	毎回、演習を通して理解を深めるため、手を動かして計算することを要求する。授業後は小テストを実施する。			
準 備 学 習 の 内 容	小テストの結果を踏まえ、復習すること。			
参 考 図 書	松坂和夫他訳「解析入門」(岩波書店)			
学 習 相 談	3 号館 1 階 中嶋研究室			
成 績 評 価 方 法	期末試験 70%、演習 30%で総合評価			
関 連 科 目	微分積分学 → 解析学 → 応用数学			

授 業 科 目 名	微 分 積 分 学		科 目 コー ド	
英 字 科 目 名	Differential and Integral Calculus		コ ー ス 名	全コース
科 目 区 分	共通・選択 (建築)	セメスター (履修学年・学期)	1 セメスター (1 年次・前期)	
代 表 教 員	中嶋 康博	単 位	2 単位	
担 当 教 員	中嶋 康博 (Yasuhiro NAKASHIMA)			
使 用 テ キ ス ト	石村園子「やさしく学べる基礎数学」(共立出版)			
授 業 の 概 要	工学の基礎となる微分と積分について、問題演習をとおして、公式の把握とその適用方法を修得する。前提となる知識はほとんど仮定しないため、内容の理解に応じて授業展開を調整する。			
到 達 目 標	(1) 微分の基本的な公式を記述できる。 (2) 初等関数の微分の計算ができる。 (3) 基本的な不定積分を計算できる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	初等関数(1)	三角関数の定義と公式		
(2)	初等関数(2)	三角関数の問題演習		
(3)	初等関数(3)	指数関数の定義と公式		
(4)	初等関数(4)	指数関数の問題演習		
(5)	初等関数(5)	対数関数の定義と公式		
(6)	初等関数(6)	対数関数の問題演習		
(7)	初等関数の微分(1)	多項式の微分、初等関数の微分		
(8)	初等関数の微分(2)	微分の性質、積の微分、合成関数の微分		
(9)	初等関数の微分(3)	微分の複合的な問題演習		
(10)	テイラー展開(1)	テイラー展開、マクローリン展開		
(11)	テイラー展開(2)	具体的な関数のテイラー展開		
(12)	積分(1)	不定積分の計算		
(13)	積分(2)	定積分の計算		
(14)	積分(3)	置換積分、部分積分		
(15)	総復習	これまでの内容の確認と問題演習		
履 修 上 の 注 意	毎回、演習を通して理解を深めるため、手を動かして計算することを要求する。授業後は小テストを実施する。			
準 備 学 習 の 内 容	小テストの結果を踏まえ、復習すること。			
参 考 図 書	松坂和夫他訳「解析入門」(岩波書店)			
学 習 相 談	3 号館 1 階 中嶋研究室			
成 績 評 価 方 法	期末試験 70%、演習 30%で総合評価			
関 連 科 目	微分積分学 → 線形代数学			

授 業 科 目 名	微 分 積 分 学		科 目 コ ー ド	
英 字 科 目 名	Differential and Integral Calculus		コ ー ス 名	全コース
科 目 区 分	共通・選択 (情報)	セメスター (履修学年・学期)	2 セメスター (1 年次・後期)	
代 表 教 員	佐々木 良勝	単 位	2 単位	
担 当 教 員	佐々木 良勝 (Yoshikatsu SASAKI)			
使 用 テ キ ス ト	石村園子著「やさしく学べる微分積分」(共立出版)			
授 業 の 概 要	1 変数関数の微分、積分を学習する。初等関数の演習問題に多く触れることで、工学の基礎となる微積分の基本的概念に習熟する。			
到 達 目 標	(1) 微分の基本的な公式を記述できる。 (2) 初等関数の微分の計算ができる。 (3) 基本的な不定積分を計算できる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	微分の定義 (1)	関数、極限		
(2)	微分の定義 (2)	微分の定義		
(3)	初等関数の微分 (1)	多項式の微分		
(4)	初等関数の微分 (2)	積の微分、商の微分		
(5)	初等関数の微分 (3)	合成関数の微分		
(6)	初等関数の微分 (4)	三角関数の微分		
(7)	初等関数の微分 (5)	指数関数の微分、対数関数の微分		
(8)	初等関数の微分 (6)	逆三角関数の微分		
(9)	微分の応用	接線の方程式、関数の増減		
(10)	不定積分と定積分 (1)	不定積分		
(11)	不定積分と定積分 (2)	定積分、面積		
(12)	不定積分と定積分 (3)	部分積分		
(13)	不定積分と定積分 (4)	置換積分		
(14)	積分の応用 (1)	物理的な問題への応用		
(15)	積分の応用 (2)	回転体の体積		
履 修 上 の 注 意	具体的な問題演習をとおして、計算力を身につけること。			
準 備 学 習 の 内 容	授業後にテキストを見直し、用語や記号を正しく理解し、例題をもう一度自分で解いてみること。			
参 考 図 書	石村園子著「やさしく学べる微分積分」(共立出版)			
学 習 相 談	3 号館 1 階 佐々木研究室			
成 績 評 価 方 法	期末テスト 70%、演習 30%で総合評価			
関 連 科 目	数学基礎 → 微分積分学			

授 業 科 目 名	線 形 代 数 学		科 目 コ ー ド	
英 字 科 目 名	Linear Algebra		コ ー ス 名	全コース
科 目 区 分	共通・選択 (建築)	セメスター (履修学年・学期)	2 セメスター (1 年次・後期)	
代 表 教 員	中嶋 康博	単 位	2 単位	
担 当 教 員	中嶋 康博 (Yasuhiro NAKASHIMA)			
使 用 テ キ ス ト	石村園子「やさしく学べる基礎数学」(共立出版)			
授 業 の 概 要	ベクトルや行列について学習する。ほとんど何の知識も仮定せずに講義を行う。線形代数学は工学におけるいろいろな計算の基礎となるものであるため、計算や考え方をしっかりと学んでもらいたい。			
到 達 目 標	(1) ベクトルや行列に関する基本的な定義を理解する。 (2) 行列を用いた、連立方程式の解法を理解する。 (3) 行列式、逆行列などが計算できる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修 得 す べ き 項 目		
(1)	スカラーとベクトル (1)	ベクトルの幾何的定義、ベクトルの演算		
(2)	スカラーとベクトル (2)	ベクトルの成分表示、内積、直交性		
(3)	スカラーとベクトル (3)	空間のベクトル、外積		
(4)	行列の計算 (1)	行列の定義、行列の和、差、スカラー倍		
(5)	行列の計算 (2)	行列の積		
(6)	行列の計算 (3)	正方行列、単位行列、逆行列、転置行列		
(7)	行列の基本変形 (1)	3 つの行基本変形		
(8)	行列の基本変形 (2)	行基本変形と行列の積		
(9)	行列の基本変形 (3)	一意的な解をもつ連立方程式の掃出し法による解法		
(10)	行列の基本変形 (4)	一意的でない解をもつ連立方程式の解法		
(11)	行列の基本変形 (5)	同次形の連立方程式の解法		
(12)	行列式 (1)	行列式の定義、2 次の逆行列の計算		
(13)	行列式 (2)	掃出し法による 3 次の行列式の計算、サラスの公式		
(14)	逆行列 (1)	2 次の行列の逆行列		
(15)	逆行列 (2)	3 次の行列の逆行列		
履 修 上 の 注 意	演習を通して理解を深めるために、手を動かして計算することを要求する。授業後は毎回、小テストを実施する。			
準 備 学 習 の 内 容	小テストの結果を踏まえ、復習すること。			
参 考 図 書	村上正康他著「教養の線形代数」(培風館)			
学 習 相 談	3 号館 1 階 中嶋研究室			
成 績 評 価 方 法	期末テスト 70%、演習 30%で総合評価			
関 連 科 目	微分積分学 → 線形代数学			

授 業 科 目 名	線形代数学 I		科目コード	12250
英 字 科 目 名	Linear Algebra I		コース名	
科 目 区 分	共通・選択(情報)	セメスター(履修学年・学期)	3 セメスター (2 年次・前期)	
代 表 教 員	中嶋 康博	単 位	2 単位	
担 当 教 員	中嶋 康博 (Yasuhiro NAKASHIMA)			
使 用 テ キ ス ト	秋山献之他著「基礎から学ぶ 行列と行列式」(培風館)			
授 業 の 概 要	線形代数学はベクトルや行列を理論的に扱う数学の分野であり、情報系においてもよく利用される。この講義では具体的な演習を通して、それらの基本的な内容を学ぶ。			
到 達 目 標	(1) 行列に関する基本的な定義を把握する。 (2) 連立一次方程式、逆行列、行列式に関する問題を、行基本変形によって解ける。 (3) 総和記号を利用するような、行列の性質に関する証明を理解できる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	行列の計算(1)	<input type="checkbox"/> 行列の定義、行列の和、差、スカラー倍		
(2)	行列の計算(2)	<input type="checkbox"/> 行列の積		
(3)	行列の計算(3)	<input type="checkbox"/> 正方行列、単位行列、逆行列、転置行列		
(4)	行列の基本変形(1)	<input type="checkbox"/> 一意的な解をもつ連立方程式の掃出し法による解法		
(5)	行列の基本変形(2)	<input type="checkbox"/> 一意的でない解をもつ連立方程式の解法		
(6)	行列の基本変形(3)	<input type="checkbox"/> 同次形の連立方程式の解法		
(7)	行列の基本変形(4)	<input type="checkbox"/> 掃出し法による 2 次の逆行列の計算		
(8)	行列の基本変形(5)	<input type="checkbox"/> 掃出し法による 3 次の行列式の計算		
(9)	行列式(1)	<input type="checkbox"/> 行列式の定義、サラスの公式		
(10)	行列式(2)	<input type="checkbox"/> 行列式の性質、余因子		
(11)	行列式(3)	<input type="checkbox"/> 余因子行列、余因子を利用した逆行列の計算		
(12)	行列式(4)	<input type="checkbox"/> 3 次の行列式の余因子展開		
(13)	行列式(5)	<input type="checkbox"/> 4 次以上の行列式		
(14)	行列式(6)	<input type="checkbox"/> クラメールの公式		
(15)	総復習	<input type="checkbox"/> これまでの内容の確認と問題演習		
履 修 上 の 注 意	毎回、演習を通して理解を深めるため、手を動かして計算することを要求する。授業後は小テストを実施する。			
準 備 学 習 の 内 容	小テストは後日返却するため、各自で誤った箇所を確認し、復習すること。			
参 考 図 書	村上正康他著「教養の線形代数」(培風館)			
学 習 相 談	1 号館 中嶋研究室			
成 績 評 価 方 法	期末試験 70%、演習 30%で総合評価			
関 連 科 目	線形代数学 I → 線形代数学 II			

授 業 科 目 名	線形代数学 II		科目コード	12260
英 字 科 目 名	Linear Algebra II		コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・選択(情報)	セメスター(履修学年・学期)	4 セメスター (2 年次・後期)	
代 表 教 員	中嶋 康博	単 位	2 単位	
担 当 教 員	中嶋 康博 (Yasuhiro NAKASHIMA)			
使 用 テ キ ス ト	秋山献之他著「基礎から学ぶ 行列と行列式」(培風館)			
授 業 の 概 要	線形代数学はベクトルや行列を理論的に扱う数学の分野であり、情報系においてもよく利用される。この講義ではベクトル空間や行列の固有値について学習する。			
到 達 目 標	(1) ベクトルの独立性や部分空間などの定義を把握する。 (2) 与えられた行列の固有値を計算できる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	ベクトルの性質(1)	<input type="checkbox"/> ベクトルの幾何的定義、ベクトルの演算		
(2)	ベクトルの性質(2)	<input type="checkbox"/> ベクトルの成分表示、内積、外積、直交性		
(3)	ベクトルの性質(3)	<input type="checkbox"/> 内積と外積の計算練習		
(4)	ベクトル空間(1)	<input type="checkbox"/> ベクトルの独立性		
(5)	ベクトル空間(2)	<input type="checkbox"/> ベクトル空間、部分空間		
(6)	ベクトル空間(3)	<input type="checkbox"/> 生成系、基底		
(7)	ベクトル空間(4)	<input type="checkbox"/> 線形写像		
(8)	ベクトル空間(5)	<input type="checkbox"/> 線形写像の像と核		
(9)	ベクトル空間(6)	<input type="checkbox"/> 表現行列		
(10)	固有値(1)	<input type="checkbox"/> 固有値の定義、固有値の計算		
(11)	固有値(2)	<input type="checkbox"/> 固有ベクトルと対角化		
(12)	固有値(3)	<input type="checkbox"/> 直交行列、グラムシュミットの直交化		
(13)	固有値(4)	<input type="checkbox"/> 実対称行列の対角化		
(14)	固有値(5)	<input type="checkbox"/> 最少多項式、ハミルトンケーリーの定理		
(15)	総復習	<input type="checkbox"/> これまでの内容の確認と問題演習		
履 修 上 の 注 意	線形代数学 I の内容を用いるため、その習得が望ましい。毎回、演習を通して理解を深めるため、手を動かして計算することを要求する。授業後は小テストを実施する。			
準 備 学 習 の 内 容	小テストは後日返却するため、各自で誤った箇所を確認し、復習すること。			
参 考 図 書	村上正康他著「教養の線形代数」(培風館)			
学 習 相 談	1 号館 中嶋研究室			
成 績 評 価 方 法	期末試験 70%、演習 30%で総合評価			
関 連 科 目	線形代数学 I → 線形代数学 II			

授 業 科 目 名	物理学 I	科目コード	12290
英 字 科 目 名	Physics I	コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・必修(機,交,情) 共通・選択(建)	セメスター(履修学年・学期)	1 セメスター (1 年次・前期)
代 表 教 員	中村文彦	単 位	2 単位
担 当 教 員	中村文彦 (Fumihiko NAKAMURA), 野田常雄 (Tsuneo NODA), 中村理央 (Riou NAKAMURA), 大久保博 (Hiroshi OHKUBO)		
使 用 テ キ ス ト	「万人の基礎物理学」(学術図書出版)		
授 業 の 概 要	物理学は自然科学の基礎としてもっとも重要な学問分野の一つであり、様々な分野で応用されている。物理学の基礎である力学は、工学分野での基礎でもあり、以降の専門分野において必要不可欠なものとなる。本講義では、現象を数学的手法を用い記述・解明する物理学的な思考を養うことを目的とする。		
到 達 目 標	(1) 変位・速度・加速度の概念を理解する。 (2) 力の関係を理解し、運動方程式を記述できるようになる。 (3) 仕事とエネルギーの関係を理解する。		
授 業 計 画			
講 義 内 容		修得すべき項目	
(1)	物理学の概要	<input type="checkbox"/> 物理学の成り立ち、科学における現象の扱い方	
(2)	数学的基礎 I (微分・積分)	<input type="checkbox"/> 簡単な微積分、微積分の物理学における意味	
(3)	数学的基礎 II (ベクトル・三角関数)	<input type="checkbox"/> 三角関数を用いた計算、ベクトルの簡単な演算	
(4)	変位・速度・加速度	<input type="checkbox"/> 変位・速度・加速度が微積分の関係にあることの理解	
(5)	力 I (力とは)	<input type="checkbox"/> 力の定義、力の単位の理解	
(6)	力 II (力の種類・特徴)	<input type="checkbox"/> 重力・摩擦力・張力・弾性力の特徴の理解	
(7)	力の釣り合い	<input type="checkbox"/> 力の釣り合いの理解、釣り合い状態の立式	
(8)	運動の法則	<input type="checkbox"/> 力と加速度の関係の理解	
(9)	運動方程式 I (1 次元の運動)	<input type="checkbox"/> 1 次元の運動(例: 落下)の運動方程式の立式	
(10)	運動方程式 II (2 次元の運動)	<input type="checkbox"/> 複雑な運動(斜面上など)の運動方程式の立式	
(11)	仕事とエネルギー I (仕事の法則)	<input type="checkbox"/> 仕事の理解	
(12)	仕事とエネルギー II (エネルギーとは)	<input type="checkbox"/> 運動エネルギー・位置エネルギーの理解	
(13)	仕事とエネルギー III (エネルギー保存)	<input type="checkbox"/> 力学的エネルギー保存則の理解・活用	
(14)	円運動・振動	<input type="checkbox"/> 回転系の運動の立式	
(15)	演習	<input type="checkbox"/> 演習問題を解き、理解を確認	
履 修 上 の 注 意	理解度を確認するため適宜演習を行うため、関数電卓を持参すること。板書主体で進めるため、専用のノートを用意することが望ましい(ルーズリーフは好ましくない)。		
準 備 学 習 の 内 容	演習問題を課すので、次回の講義までに解いてくること。わからない場合は諦めるのではなく、各種文献や教員を頼ってでも自力で解くこと。		
参 考 図 書	新田英雄著「マンガでわかる物理 力学編」(オーム社 2006)		
学 習 相 談	野田研究室 (図書館 1 階) email: noda@kurume-it.ac.jp		
成 績 評 価 方 法	レポート 20%、小テスト 30%、期末試験 50%で総合評価		
関 連 科 目	物理学 I → 物理学 II → 物理学実験 → 現代物理学		

授 業 科 目 名	物理学 II		科目コード	12300
英 字 科 目 名	Physics II		コース名	
科 目 区 分	共通・必修(交通) 共通・選択(機械)	セメスター(履修学年・学期)	2セメスター(1年次・後期)	
代 表 教 員	江藤徹二郎	単 位	2単位	
担 当 教 員	中村文彦 (Fumihiko NAKAMURA), 江藤徹二郎 (Tetsujiro ETO), 野田常雄 (Tsuneo NODA), 中村理央 (Riou NAKAMURA)			
使 用 テ キ ス ト	「万人の基礎物理学」(学術図書出版)			
授 業 の 概 要	物理学は自然科学の基礎としてもっとも重要な学問分野の一つであり、様々な分野で応用されている。本講義では、前期(物理学 I/物理学の基礎)の力学に続き、熱力学及び電磁気学についての解説・演習を行う。			
到 達 目 標	(1) 熱、熱容量、比熱の関係を理解する。 (2) 気体の等温・等圧・等積・断熱変化を理解し、計算できるようになる。 (3) 静電気・電流を理解し、クーロン力やオームの法則の計算ができるようになる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	熱力学とは	<input type="checkbox"/> 熱力学で考慮する変数		
(2)	熱と温度	<input type="checkbox"/> 温度・比熱・熱容量・熱の関係の理解・計算		
(3)	熱平衡と熱量保存	<input type="checkbox"/> 熱の移動についての理解		
(4)	ボイル・シャルルの法則	<input type="checkbox"/> 気体の変化、状態方程式についての理解		
(5)	断熱変化	<input type="checkbox"/> 断熱変化での温度変化の理解と計算		
(6)	サイクルと仕事	<input type="checkbox"/> カルノーサイクルと熱効率についての理解		
(7)	不可逆過程とエントロピー	<input type="checkbox"/> 不可逆な現象についての理解		
(8)	演習	<input type="checkbox"/> 熱力学の演習問題を解き、理解を確認		
(9)	電磁気学の基礎	<input type="checkbox"/> 原子の構造・電気量保存の理解		
(10)	静電気	<input type="checkbox"/> 電気力の理解・計算		
(11)	電場	<input type="checkbox"/> 電場の概念の理解		
(12)	電位とエネルギー	<input type="checkbox"/> 電位の理解、電気力加速の計算		
(13)	電流と抵抗 I	<input type="checkbox"/> オームの法則を用いた立式		
(14)	電流と抵抗 II	<input type="checkbox"/> キルヒホッフの法則を用いた立式		
(15)	演習	<input type="checkbox"/> 電磁気学の演習問題を解き、理解を確認		
履 修 上 の 注 意	理解度を確認するため適宜演習を行うため、関数電卓を持参すること。板書主体で進めるため、専用のノートを用意することが望ましい(ルーズリーフは好ましくない)。			
準 備 学 習 の 内 容	演習問題を課すので、次回の講義までに解いてくること。わからない場合は諦めるのではなく、各種文献や教員を頼ってでも自力で解くこと。			
参 考 図 書	原田知広著「マンガでわかる熱力学」(オーム社 2009)			
学 習 相 談	野田研究室 (図書館 1 階) email: noda@kurume-it.ac.jp			
成 績 評 価 方 法	レポート 20%、小テスト 30%、期末試験 50%で総合評価			
関 連 科 目	物理学 I → 物理学 II → 物理学実験 → 現代物理学			

授 業 科 目 名	物理学実験		科目コード	12320
英 字 科 目 名	Experimental Physics		コース名	
科 目 区 分	共通・選択 (機, 交, 建)	セメスター (履修学年・学期)	3 セメスター (2 年次・前期)	
代 表 教 員	江藤徹二郎	単 位	2 単位	
担 当 教 員	江藤徹二郎 (Tetsujiro ETO), 寺下裕俊 (Hirotooshi TERASHITA), 大久保博 (Hiroshi OHKUBO)			
使 用 テ キ ス ト	物理学実験テキスト(配布)			
授 業 の 概 要	最先端の科学技術の基礎をなし、さらに実際の自然に触れるのが「物理学実験」である。1 年次に修得した物理学の基礎を実際に実験で行うことによって、それらの理解を深める。			
到 達 目 標	(1) 目の前の物理現象と講義で行った内容との対応を理解する。 (2) 測定機器の原理や扱い方を習得する。 (3) 実験の手順を工夫し考えることで、現象についての理解を深める。			
授 業 計 画				
	講 義 内 容		修得すべき項目	
(1)	講義		<input type="checkbox"/> 実験を行う意義・心構えを理解する。	
(2)	密度測定の前準備実験		<input type="checkbox"/> 物質の密度を測定し、密度の概念を理解する。	
(3)	重力加速度測定 I		<input type="checkbox"/> 落下運動による重力加速度の直接測定を行う	
(4)	重力加速度測定 II		<input type="checkbox"/> ボルダの振り子による重力加速度の間接測定を行う。	
(5)	まとめ-重力加速度測定		<input type="checkbox"/> 間接測定と直接測定の違いを理解する。	
(6)	比熱測定 I		<input type="checkbox"/> 仕事当量・水の比熱の測定を行う。	
(7)	比熱測定 II		<input type="checkbox"/> 物質の比熱を測定し、物質の特定を行う。	
(8)	まとめ-比熱測定		<input type="checkbox"/> 比熱が物質ごとに違うことを理解する。	
(9)	弾性力測定 I		<input type="checkbox"/> 剛性率を測定し、剛性について理解する。	
(10)	弾性力測定 II		<input type="checkbox"/> ヤング率を測定し、フックの法則について理解する。	
(11)	まとめ-弾性力測定		<input type="checkbox"/> 材料による弾性力の違いについて理解する。	
(12)	電気抵抗測定 I		<input type="checkbox"/> 抵抗の温度変化を測定し、抵抗の振る舞いを理解する。	
(13)	電気抵抗測定 II		<input type="checkbox"/> ダイオードの特性を測定し、抵抗との違いを理解する。	
(14)	波動測定(音波共鳴 or 光の屈折)		<input type="checkbox"/> 波動について測定し、波動の振る舞いを理解する。	
(15)	まとめ-電気抵抗と波動		<input type="checkbox"/> 電気・波動についてイメージをつかむ	
履 修 上 の 注 意	実験ノート(ルーズリーフ不可)を必ず用意する。電卓・定規・レポート用紙(A4)は必ず持参する。試験は行わないが、レポートの捏造等の実験倫理違反はカンニング行為と同様に処理する。			
準 備 学 習 の 内 容	実験開始前に予習レポートを課す。テキストを読み、実験の手順について考えておくこと。			
参 考 図 書	水野善右衛門・三木久夫共著「基礎物理学実験(改訂版)」(培風館)			
学 習 相 談	江藤 (徹) 研究室 (図書館 1 階) email: teto@kurume-it.ac.jp			
成 績 評 価 方 法	予習レポート 20%、実験態度 10%、レポート 70%で総合評価			
関 連 科 目	物理学 I → 物理学 II → 物理学実験 → 現代物理学			

授 業 科 目 名	現代物理学	科目コード	12330
英 字 科 目 名	Modern Physics	コース名	
科 目 区 分	共通・選択(交通)	セメスター(履修学年・学期)	4セメスター(2年次・後期)
代 表 教 員	江藤徹二郎	単 位	2単位
担 当 教 員	江藤徹二郎 (Tetsujiro ETO)		
使 用 テ キ ス ト	「万人の基礎物理学」(学術図書出版)		
授 業 の 概 要	物理学は日進月歩の学問分野である。本講義においてはこれまで履修してきた物理学を、微分方程式を用いることで理解を深める。また、工学分野において必要不可欠な剛体の運動も取り扱う。		
到 達 目 標	(1) 微分方程式の形で運動方程式を記述できるようになる。 (2) 微分方程式を解くことができる。 (3) 剛体の運動をベクトルを用い表すことができる。		
授 業 計 画			
講 義 内 容		修得すべき項目	
(1)	微分方程式 I	<input type="checkbox"/> 微積分の復習、簡単な微分方程式の演算	
(2)	微分方程式 II	<input type="checkbox"/> 変数分離型微分方程式の演算	
(3)	微分方程式 III	<input type="checkbox"/> 1階日同時線形微分方程式の演算	
(4)	微分方程式 IV	<input type="checkbox"/> 2階線形微分方程式の演算	
(5)	古典力学 I	<input type="checkbox"/> 単純な運動の微分方程式での立式	
(6)	古典力学 II	<input type="checkbox"/> 単振動や空気抵抗のある落下運動の立式	
(7)	演習	<input type="checkbox"/> 微分方程式の理解	
(8)	減衰振動 I	<input type="checkbox"/> 減衰振動の微分方程式での立式	
(9)	減衰振動 II	<input type="checkbox"/> 減衰振動の微分方程式の解法	
(10)	強制振動 I	<input type="checkbox"/> 強制振動の微分方程式での立式	
(11)	強制振動 II	<input type="checkbox"/> 強制振動の微分方程式の解法	
(12)	演習	<input type="checkbox"/> 減衰・強制振動の理解	
(13)	剛体運動 I	<input type="checkbox"/> 剛体の運動とベクトル演算	
(14)	剛体運動 II	<input type="checkbox"/> 慣性モーメントの計算、剛体の運動方程式の立式	
(15)	演習	<input type="checkbox"/> 剛体の運動の理解	
履 修 上 の 注 意	理解度を確認するため適宜演習を行うため、関数電卓を持参すること。板書主体で進めるため、専用のノートを用意することが望ましい(ルーズリーフは好ましくない)。		
準 備 学 習 の 内 容	演習問題を課すので、次回の講義までに解いてくること。わからない場合は諦めるのではなく、各種文献や教員を頼ってでも自力で解くこと。		
参 考 図 書	佐藤実著「マンガでわかる微分方程式」(オーム社 2009)		
学 習 相 談	江藤(徹)研究室(図書館1階) email: teto@kurume-it.ac.jp		
成 績 評 価 方 法	レポート 20%、小テスト 30%、期末試験 50%で総合評価		
関 連 科 目	物理学 I → 物理学 II → 物理学実験 → 現代物理学		

授 業 科 目 名	化学の基礎	科目コード	12340
英 字 科 目 名	Basic Chemistry	コース名	
科 目 区 分	共通・選択（機械・交通）	セメスター（履修学年・学期）	1セメスター（1年次前期）（機械） 2セメスター（1年次後期）（交通）
代 表 教 員	中村 美紗	単 位	2単位
担 当 教 員	中村 美紗 (Misa NAKAMURA)・横野 照尚 (Teruhisa OHNO)		
使 用 テ キ ス ト	左巻健男 他「基礎化学 12 講」(化学同人)		
授 業 の 概 要	高等学校段階で化学を履修していなかった、あるいは履修したけれどもよく理解できなかった学生が今後化学について学習し、問題演習や実験するために必要不可欠である基礎的な事項を学ぶ。		
到 達 目 標	(1) 物質の燃焼や水溶液の性質等の日常の現象から先端技術を支える原理までを化学的に説明できる。 (2) 丸暗記ではなく「なぜそうなるのか」に視点をおき、物事の本質を見極める考え方ができる。		
授 業 計 画			
講 義 内 容		修得すべき項目	
(1)	物質とは何か	<input type="checkbox"/> 物体と物質、元素、化学変化	
(2)	原子と元素	<input type="checkbox"/> 原子の構造、電子配置	
(3)	周期表	<input type="checkbox"/> 周期律と周期表	
(4)	化学式と化学反応式	<input type="checkbox"/> 原子量、分子量、モル、化学反応式の作り方	
(5)	物質と濃度 1	<input type="checkbox"/> モル濃度、質量モル濃度、%、ppm	
(6)	物質と濃度 2	<input type="checkbox"/> 単位計算、単位変換	
(7)	物質と濃度 3	<input type="checkbox"/> 化学反応量	
(8)	酸と塩基 1	<input type="checkbox"/> 酸と塩基の定義、酸・塩基の強弱	
(9)	酸と塩基 2	<input type="checkbox"/> 中和反応、水素イオン濃度と pH	
(10)	水溶液の束一的性質	<input type="checkbox"/> 蒸気圧、凝固点降下、沸点上昇、浸透圧	
(11)	物質の三態	<input type="checkbox"/> 気体・液体・固体の性質、溶解度、昇華	
(12)	化学平衡	<input type="checkbox"/> 可逆・不可逆反応、ル・シャトリエの法則	
(13)	反応熱と反応速度	<input type="checkbox"/> 熱化学方程式、ヘスの法則、活性化エネルギー	
(14)	酸化と還元 1	<input type="checkbox"/> 酸化剤、還元剤	
(15)	酸化と還元 2	<input type="checkbox"/> 金属のイオン化傾向、電池	
履 修 上 の 注 意	講義の理解度を確保するため、講義中に小テストを実施し、レポートとして提出させる。講義には適宜電卓を持参すること。		
準 備 学 習 の 内 容	毎回の小テストは合格するまでやり直して提出し、繰り返し学習すること。		
参 考 図 書	磯直道・奥谷忠雄・滝沢靖臣「物質とは何か」(東京化学社)		
学 習 相 談	中村 (美) 研究室 (3号館 1階) e-mail:misanaka@kurume-it.ac.jp		
成 績 評 価 方 法	小テスト (30%)、授業態度 (20%)、期末試験 (50%) で総合評価。		
関 連 科 目	化学の基礎→分析技術→環境と化学→大気環境保全→水質環境保全 (機械) 化学の基礎→工業熱力学 I →工業熱力学 II (交通)		

授業科目名	オーラルイングリッシュ		科目コード	12441
英字科目名	Oral English		コース名	
科目区分	共通・必修	履修学年・学期 (セメスター)	1 セメスター (1年次・前期)	
代表教員	山田 久美	単位	1 単位	
担当教員	リー・リチャード (Richard Lee)			
使用テキスト	Conversations in Class, 3rd Edition By Gerald Talandis Jr. et al.			
授業の概要	This class will focus on listening and speaking skills necessary for competence in basic everyday English conversation. Students will be expected to study vocabulary related to the topics covered in class as well as speak in class with classmates and their teacher.			
到達目標	By the end of this course, students will be able to: (1) understand the basic skills and strategies used in conversational English, (2) understand vocabulary and expressions necessary for conversation, and (3) begin, continue and end short-conversations on a variety of topics related to their personal and academic lives.			
授 業 計 画				
講義内容		修得すべき項目		
(1)	Introduction to the course: Orientation to the textbook	To discuss Goals; Rules; Grading; Textbook: Introduction; Orientation to the textbook		
(2)	Getting Acquainted I	To study vocabulary and language related to hometowns and other places.		
(3)	Getting Acquainted II	To study vocabulary and speak with classmates about majors, classes and university		
(4)	Getting Acquainted III	To study vocabulary and learn follow-up questions about part-time jobs.		
(5)	Daily Life I	To study vocabulary and learn follow-up questions about daily activities		
(6)	Daily Life II	To study vocabulary and learn follow-up questions about hardest/easiest day of the week and spending time.		
(7)	Daily Life III	To study vocabulary and learn follow-up questions about spending time and frequency of activities		
(8)	Review of material	Review material covered in the first 7 weeks of class.		
(9)	Living situations and places I	To study vocabulary and learn follow-up questions about living situations.		
(10)	Living situations and places II	To study vocabulary and learn follow-up questions about hometowns		
(11)	Living situations and places III	To review Unit 3 vocabulary to prepare for a quiz next week. Study vocabulary for Unit 4 part 1		
(12)	Travel I	To study vocabulary and learn follow-up questions about going abroad		
(13)	Travel II	To study vocabulary and learn follow-up questions about making travel plans		
(14)	Travel III	To study vocabulary and learn follow-up questions about traveling.		
(15)	Review of material	To review material covered in this course.		
履修上の注意	Students who miss 5 or more classes will not be able to take the final examination.			
準備学習の内容	Students are expected to take notes on and review all material covered in class and preview upcoming material.			
参考図書	Impact conversation by Kristen Sullivan et al., Pearson Longman Publishing			
学習相談	6号館4階 LEE研究室; leera@kurume-it.ac.jp			
成績評価方法	授業態度 (50%)、テスト (50%)			
関連科目	オーラルイングリッシュ→ オーラル科学技術英語			

授業科目名	オーラル科学技術英語		科目コード	12370
英字科目名	Oral English for Science and Technology		コース名	
科目区分	共通・選択	履修学年・学期 (セメスター)	2 セメスター (1 年次・後期)	
代表教員	リー・リチャード	単位	1 単位	
担当教員	リー・リチャード (Richard Lee)			
使用テキスト	未定			
授業の概要	This class will help students improve their English reading and listening comprehension skills. Students will also learn be expected to apply their understanding of various texts in discussions with classmates and the teacher.			
到達目標	By the end of the course, students will be able to: (1) understand spoken English used in simple presentations and conversations, (2) identify specific information such as vocabulary and numbers used in presentations and conversations, and (3) speak with classmates and the teacher about a variety of topics related to science and technology.			
授 業 計 画				
講義内容		修得すべき項目		
(1)	Introduction to the course:	Introduction to the course: rules, goals and grading. Orientation to the materials.		
(2)	Largest Ice Hotel I	To practice vocabulary and expressions related to the size of buildings.		
(3)	Largest Ice Hotel II	To listen for details, take notes and recall vocabulary related to the order of activities to complete charts.		
(4)	Most Consecutive Rallies I	To practice vocabulary and expressions useful in describing automobiles, terrain and weather conditions.		
(5)	Most Consecutive Rallies II	To listen for details, take notes and recall vocabulary to use in discussions and listening activities.		
(6)	Largest Collection I	To practice vocabulary and expressions useful in describing collections and hobbies.		
(7)	Largest Collection II	To listen for details, take notes and recall vocabulary to complete discussions and listening activities.		
(8)	Review of material and assessment	To review material covered in the first 7 weeks of class.		
(9)	Fastest Circumnavigation I	To study vocabulary and expressions related to distance and travel.		
(10)	Fastest Circumnavigation II	To listen for details and ask and answers questions related to foreign countries and international travel.		
(11)	Most Chopped Trees I	To study vocabulary and expressions for dates and other numerical data.		
(12)	Most Chopped Trees II	To listen for details, take notes and recall vocabulary related to counting objects, dates and ages.		
(13)	Longest Session I	To study vocabulary and learn follow-up questions about activities.		
(14)	Longest Session II	To study vocabulary and learn follow-up questions about maintaining health.		
(15)	Review of material and assessment	To review material covered in this course.		
履修上の注意	Students who miss 5 or more classes will not be able to take the final examination.			
準備学習の内容	Students are expected to take notes on and review all material covered in class and preview upcoming material.			
参考図書	Impact conversation by Kristen Sullivan et al., Pearson Longman Publishing			
学習相談	6 号館 4 階 LEE 研究室; leera@kurume-it.ac.jp			
成績評価方法	授業態度 (50%)、テスト (50%)			
関連科目	オーラル科学技術英語 → オーラルイングリッシュ			

授業科目名	オーラル科学技術英語	科目コード	12370
英字科目名	Oral English for Science and Technology	コース名	
科目区分	共通・選択必修	セメスター(履修学年・学期)	2セメスター(1年次・後期)
代表教員	松中 完二	単 位	1単位
担当教員	松中 完二(Kanji MATSUNAKA)		
使用テキスト	<i>Asking Why? The Science of Everyday Life</i> (金星堂)		
授業の概要	日常に転がる身近な不思議を取り上げ、英文で書かれた科学技術の観点から解答を与える。そこでの語彙と表現を基に、英語の読み、書き、話し、聴く、の4技能の向上を図る。		
到達目標	1. 英語の基礎文法並びに、平易な科学技術英語が理解出来る。 2. 工業英検3級、準2級、TEP TEST3級、2級合格に対応した英語の基礎力をつける。		
授 業 計 画			
	講義内容	修得すべき項目	
(1)	講義の概要について説明。	<input type="checkbox"/> 授業回数と授業の進め方について理解する。	
(2)	Why People Have Eyelashes?	<input type="checkbox"/> まつげの機能と理由について理解する。	
(3)	Why Pepper Make Sneeze?	<input type="checkbox"/> 鼻の粘膜の機能と理由について理解する。	
(4)	Why Do We Fall in Love?	<input type="checkbox"/> 人間が恋に堕ちるメカニズムについて理解する。	
(5)	Why Can't We Cure a Cold?	<input type="checkbox"/> 人間が風邪を引くメカニズムについて理解する。	
(6)	Why Is the Number 7 Lucky?	<input type="checkbox"/> 数字の持つ不思議について理解する。	
(7)	Why Our Hair Turn Gray?	<input type="checkbox"/> 白髪メカニズムと不思議について理解する。	
(8)	Why Is the Sea Salty?	<input type="checkbox"/> 海水がしょっぱいメカニズムと不思議について理解する。	
(9)	Why Do Women Live Longer?	<input type="checkbox"/> 女性が長生きであるメカニズムと不思議について理解する。	
(10)	Why Spider Webs So Strong?	<input type="checkbox"/> 蜘蛛の巣のメカニズムと不思議について理解する。	
(11)	Why Do We Dream?	<input type="checkbox"/> 夢を見るメカニズムと不思議について理解する。	
(12)	Why Do Bugs Fly into Light?	<input type="checkbox"/> 昆虫が光に寄り付くメカニズムと不思議について理解する。	
(13)	Why Do We Forget Things?	<input type="checkbox"/> 物忘れのメカニズムと不思議について理解する。	
(14)	Why Is the Sky Blue?	<input type="checkbox"/> なぜ空は青いのか、そのメカニズムと不思議について理解する。	
(15)	総括	<input type="checkbox"/> 全体のまとめ	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・出席回数、授業参加の態度が最重要。 ・卓上型の辞書(電子辞書も可)は必須です。 ・進度に応じて授業計画の進度や実施単元は変更する場合があります。 		
準備学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・予習、復習は必須です。 ・毎回授業の最初に前回授業内容に係る単語テストを実施するので復習しておくこと。 		
参考図書	『マスターしておきたい技術英語の基本』カウエル・錦共著(コロナ社)		
学習相談	6号館4階 松中研究室 e-mail: matunaka@kurume-it.ac.jp		
成績評価方法	ペーパーテスト 60%、単語テスト 40%。		
関連科目	ベーシックイングリッシュ、科学技術英語など		

授業科目名	ベーシック イングリッシュ	科目コード	12401
英字科目名	Basic English	コース名	
科目区分	共通・必修	セメスター(履修学年・学期)	1セメスター (1年次・前期)
代表教員	山田 久美	単 位	1単位
担当教員	山田 久美(Kumi YAMADA)・松中 完二(Kanji MATSUNAKA)		
使用テキスト	山田 久美・川尻 徳著 <i>Starting Gate: An Introduction to English grammar</i> (南雲堂)		
授業の概要	中、高校の英語学習で十分に習得できていないと思われる部分を中心に、語彙と文法の基本を理解する。リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能がバランスよく学習できるよう工夫し、本学の学生のレベルと知的興味に合わせた自作テキストを上梓した。理数系学生必須の基本語彙を用いて、科学的文章読解などにも力を入れる。		
到達目標	1. 日常のコミュニケーションに多用される 1500~2000 語レベルの語彙が理解できる。 2. 実践演習による基礎文法が理解できる。 3. 実用英語が運用できる。		
授 業 計 画			
講義内容		修得すべき項目	
(1)	導入：英語の文	<input type="checkbox"/> 基本となる英語学習法について	
(2)	名詞・代名詞・冠詞	<input type="checkbox"/> 必需品詞 の学習	
(3)	動詞	<input type="checkbox"/> 自動詞・他動詞他、多様な動詞の識別	
(4)	5 文型	<input type="checkbox"/> S V O C の判別及び文型	
(5)	助動詞	<input type="checkbox"/> 助動詞の様々な用法	
(6)	時制	<input type="checkbox"/> 動詞変化による時制の理解	
(7)	完了形	<input type="checkbox"/> 過去・現在・未来各々の完了形の用法	
(8)	不定詞	<input type="checkbox"/> 準動詞の習得その1	
(9)	動名詞	<input type="checkbox"/> 準動詞の習得その2	
(10)	分詞	<input type="checkbox"/> 準動詞の習得その3	
(11)	受動態	<input type="checkbox"/> 能動態との転換法	
(12)	形容詞・副詞・比較	<input type="checkbox"/> 各々の変化形について習熟	
(13)	関係詞	<input type="checkbox"/> 関係代名詞・関係副詞の理解	
(14)	仮定法	<input type="checkbox"/> 仮定法過去、仮定法過去完了、特殊な仮定法	
(15)	文構造のまとめ	<input type="checkbox"/> 単・重・複文構造の理解とまとめ	
履修上の注意	出席及び授業態度を重視する。講義には各自、辞書を持参すること。		
準備学習の内容	単語の意味、音読練習、和訳等について十分に予習しておくこと。		
参考図書	高橋晴雄著「工業技術英単語集」(森北出版)		
学習相談	6号館4階 松中研究室 e-mail:matunaka@kurume-it.ac.jp		
成績評価方法	期末試験 60%、毎回のテストペーパー (出欠確認を兼ねる)40%		
関連科目	ベーシックイングリッシュ→英語コミュニケーションスキル、科学技術英語		

授業科目名	ベーシック イングリッシュ	科目コード	12401
英字科目名	Basic English	コース名	
科目区分	共通・必修	セメスター(履修学年・学期)	1セメスター(1年次・前期)
代表教員	松中 完二	単 位	1単位
担当教員	松中 完二(Kanji MATSUNAKA)		
使用テキスト	山田 久美・川尻 徳著 <i>Starting Gate: An Introduction to English grammar</i> (南雲堂)		
授業の概要	中高の英語学習で学ぶ基本文法を中心に、再確認と学び直します。そこから大学生の初級英語の理解の促進を目指します。また理数系学生必須の基本語彙を用いて、科学的文章の読解力も養成します。		
到達目標	1. 1500～2000 語レベルの語彙が理解できるようになる。 2. 実践演習による基礎文法が理解できるようになる。 3. 実用英語が運用できるようになる。		
授 業 計 画			
講義内容		修得すべき項目	
(1)	導入	<input type="checkbox"/> 授業の進め方などについて解説します。	
(2)	名詞・代名詞・冠詞	<input type="checkbox"/> 必需品詞について解説します。	
(3)	動詞	<input type="checkbox"/> 自動詞・他動詞他、多様な動詞について解説します。	
(4)	5 文型	<input type="checkbox"/> SVOCの判別及び文型について解説します。	
(5)	助動詞	<input type="checkbox"/> 助動詞の様々な用法について解説します。	
(6)	時制	<input type="checkbox"/> 動詞変化による時制の理解 について解説します。	
(7)	完了形	<input type="checkbox"/> 過去・現在・未来各々の完了形の用法について解説します。	
(8)	不定詞	<input type="checkbox"/> 不定詞の用法について解説します。	
(9)	動名詞	<input type="checkbox"/> 動名詞の用法について解説します。	
(10)	分詞	<input type="checkbox"/> 分詞の用法について解説します。	
(11)	受動態	<input type="checkbox"/> 受動態の用法について解説します。	
(12)	形容詞・副詞・比較	<input type="checkbox"/> 形容詞・副詞・比較について解説します。	
(13)	関係詞	<input type="checkbox"/> 関係代名詞・関係副詞について解説します。	
(14)	仮定法	<input type="checkbox"/> 仮定法について解説します。	
(15)	まとめ	<input type="checkbox"/> 授業の総括を行います。	
履修上の注意	出席及び授業態度を重視する。講義には各自、辞書を持参すること。		
準備学習の内容	単語の意味、音読練習、和訳等について十分に予習しておくこと。		
参考図書	高橋晴雄著「工業技術英単語集」(森北出版)		
学習相談	6号館4階 松中研究室 e-mail:matunaka@kurume-it.ac.jp		
成績評価方法	期末試験 60%、毎回のテストペーパー (出欠確認を兼ねる)40%。		
関連科目	ベーシックイングリッシュ→英語コミュニケーションスキル、科学技術英語		

授 業 科 目 名	英語コミュニケーションスキル	科目コード	12380
英 字 科 目 名	English Communication Skills	コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・必修（全学科）	セメスター（履修学年・学期）	4セメスター（2年次・後期）
代 表 教 員	山田久美	単 位	2 単位
担 当 教 員	山田久美（Kumi YAMADA）		
使用テキスト	<i>Journey to Success: Departing for a Higher Score on the TOEIC Test</i> 倉田誠他著（桐原書店）		
授 業 の 概 要	世界を繋ぐ国際語としての英語の学習は、現実コミュニケーションのツールとして実用化出来た時、その真の意義が認められる。今後海外へ出る機会を見据え、より実践的な英語を体得するため、高得点を取れば就職にも有利な TOEIC 受験準備を兼ねた様々な演習問題に取り組む。授業を通して異文化への理解を深め、海外への関心を高めたい。		
到 達 目 標	(1) TOEIC スコアに関し、受講前のレベルから更に上ランクの得点が取得できる (2) 短期の海外旅行や留学に必要な、実用英語の語彙が増える (3) 短文を中心に意思表示の必要な場面で有用な、様々な会話表現ができる。		
授 業 計 画			
講 義 内 容		修得すべき項目	
(1)	Introduction	<input type="checkbox"/> TOEICについて、基礎的な知識を得る	
(2)	Departure & Arrival	<input type="checkbox"/> 入国審査/通関/両替の際に必要な英語表現	
(3)	Homestay	<input type="checkbox"/> ホストファミリーとの会話	
(4)	Telephone	<input type="checkbox"/> 電話の表現	
(5)	Shopping	<input type="checkbox"/> 店内設備や表示・買い物の際の表現	
(6)	Getting around	<input type="checkbox"/> 道路施設名称・交通機関・道の尋ね方の表現	
(7)	Eating out	<input type="checkbox"/> 予約・注文等外食関連の表現	
(8)	Review I	<input type="checkbox"/> 前半の総括とミニテスト 1	
(9)	Parties and Celebrations	<input type="checkbox"/> パーティ参加・祝典関連の表現	
(10)	Hotel	<input type="checkbox"/> 宿泊・施設・サービスに関する表現	
(11)	Sightseeing	<input type="checkbox"/> 観光全般関連表現	
(12)	Staying healthy	<input type="checkbox"/> 症状の説明・薬品の処方等の表現	
(13)	Housing	<input type="checkbox"/> 賃貸契約・住居施設に関する表現	
(14)	Studying abroad	<input type="checkbox"/> 学業関連語彙・大学内施設等に関する表現	
(15)	Review II	<input type="checkbox"/> 後半の総括とミニテスト 2	
履 修 上 の 注 意	授業態度や発表内容は評価の対象となる。講義には各自辞書等を持参すること。		
準 備 学 習 の 内 容	自習用 CD が付いているので授業前に聴き、問題を解いて来ること。		
参 考 図 書	相澤一美他著 『JACET8000 英単語』（桐原書店）		
学 習 相 談	6 号館 4 階 山田研究室 e-mail: kumiyama@cc.kurume-it.ac.jp		
成 績 評 価 方 法	平常点 50%，期末試験 50%で総合評価する。		
関 連 科 目	英語コミュニケーションスキル→上級英語等。		

授業科目名	英語コミュニケーションスキル	科目コード	12380
英字科目名	English Communication Skills	コース名	
科目区分	共通・必修 (全学科)	履修学年・学期	4 セメスター (2 年次・後期)
代表教員	山田 久美	単位	2 単位
担当教員	リー・リチャード (Richard Lee)		
使用テキスト	Great Presentations 1: Plan, Present and Communicate By Herman Bartelen, Malcom Kostuik, and Henry Wolf VII R.I.C. Publications, Tokyo ISBN: 978490392450		
授業の概要	This class will help students understand fundamental English communication skills. Students will receive training on how to communicate ideas by organizing and giving a series of short presentations. Students will also be expected to practice vocabulary and speaking with classmates about a variety of topics.		
到達目標	By the end of the course, students will be able to: (1) understand the basic organizational principles needed for giving presentations, (2) comprehend the main aspects of presentations given in fluent spoken English, and (3) use this information to brainstorm, organize and give short presentations of their own in English.		
授 業 計 画			
講義内容		修得すべき項目	
(1)	Introduction to the course:	To discuss Goals; Rules; Grading; Textbook: Introduction; Orientation to the textbook	
(2)	Introductions I	To learn vocabulary and language essential for making self-introductions.	
(3)	Introductions II	To plan and write a presentation. Make a brainstorming map, write an introduction, body and conclusion to a presentation	
(4)	Introductions III	To practice presentation techniques; Give a short (1min) presentation.	
(5)	Giving Reasons and Examples I	To learn vocabulary and language essential for talking about things that are important	
(6)	Giving Reasons and Examples II	To plan and write a presentation. Write reasons, answer the 5 Wh questions.	
(7)	Giving Reasons and Examples III	To practice presentation techniques and give a short (1-2 min) presentation something important.	
(8)	Review of material and assessment	To review material covered in the first 7 weeks of class.	
(9)	Describing Locations I	To learn vocabulary and language essential for describing places and locations	
(10)	Describing Locations II	To plan and write a presentation. Brainstorm; Create a location diagram, Introduction and Conclusion	
(11)	Describing Locations III	To practice presentation techniques and give a short (1-2 min) presentation about a favorite place.	
(12)	Describing a process I	To learn vocabulary and language essential for describing a process.	
(13)	Describing a process II	To plan and write a presentation. Brainstorm; Write about and describe a process for how doing something.	
(14)	Describing a process III	To practice presentation techniques and give a short (1-2 min) presentation about how something is done.	
(15)	Review of material and assessment	To review material covered in this course.	
履修上の注意	Students who miss 5 or more classes will not be able to take the final examination.		
準備学習の内容	Students are expected to bring their textbooks to every class, take notes on and review all material covered in class, and preview upcoming material.		
参考図書	Impact conversation by Kristen Sullivan and Todd Beuckens, Pearson Longman Publishing		
学習相談	6 号館 4 階 LEE 研究室; leera@kurume-it.ac.jp		
成績評価方法	授業態度 (50%)、テスト (50%)		
関連科目	オーラル科学技術英語 → 科学技術英語		

授業科目名	科学技術英語	科目コード	12430
英 字 科 目 名	English for Science and Technology	コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・必修(交・情) 共通・選択(機・建・教)	セメスター (履修学年・学期)	3セメスター(2年次・前期)
代 表 教 員	松中 完二	単 位	2単位
担 当 教 員	松中 完二(kanji MATSUNAKA)		
使 用 テ キ ス ト	椋平 敦他編 <i>Japan's Skyline</i> (日本企業の取り組みに学ぶ最新科学技術)(金星堂)		
授 業 の 概 要	有史以来、人間の進化とものづくりの発展は常に共栄関係にあったが、ものづくりを支える知識は言葉なしにはありえない。本講義では「人間味豊かな産業人」への礎として世界的カリスマ技術者の生き方に触れ、日本企業の技術革新から人間の本能としてのものづくりの欲求と喜びについて、英語を通して学び考えたい。		
到 達 目 標	1. 平易な科学技術英文を辞書なしで速読し、理解できるようになる。 2. 不完全な人間による完璧な計算の上に成り立つ美、感性としてのものづくり、芸術としての工学が体感できる。		
授 業 計 画			
講 義 内 容		修得すべき項目	
(1)	講義の概要について説明。	<input type="checkbox"/> 授業回数と授業の進め方について理解する。	
(2)	1 課 Design First!	<input type="checkbox"/> パナソニックの HD カメラの開発に伴う英文技術文章の理解。	
(3)	2 課 Meeting Athletes' Needs	<input type="checkbox"/> エプソンの腕時計型 GPS 開発に伴う英文技術文章の理解。	
(4)	3 課 Seven Years in the Making	<input type="checkbox"/> リクルーの東京駅新装に伴う英文技術文章の理解。	
(5)	4 課 MEISTEeR to the Rescue	<input type="checkbox"/> 三菱重工の災害対策ロボット開発に伴う英文の理解。	
(6)	5 課 Space Station Science	<input type="checkbox"/> ヤクルトの乳酸菌の宇宙実験に伴う英文技術文章の理解。	
(7)	6 課 Driving Control & Safety	<input type="checkbox"/> テンソーの運転自動化の開発に伴う英文技術文章の理解。	
(8)	7 課 Renewing Plastics	<input type="checkbox"/> 三菱電機のプラスチック開発に伴う英文技術文章の理解。	
(9)	8 課 Directing the Blind	<input type="checkbox"/> 富士通の音声ガイド開発に伴う英文技術文章の理解。	
(10)	9 課 Music & Architecture	<input type="checkbox"/> フェスティバルホールの美術館建設に伴う英文技術文章の理解。	
(11)	10 課 Painless Injections	<input type="checkbox"/> 富士フィルムの新型注射器開発に伴う英文技術文章の理解。	
(12)	11 課 Tsunami Defense	<input type="checkbox"/> 大林組の防波堤建設に伴う英文技術文章の理解。	
(13)	12 課 Improving Business Performance	<input type="checkbox"/> 日立のデータ集積回路開発に伴う英文技術文章の理解。	
(14)	13 課 An Efficient refrigerant	<input type="checkbox"/> ダイソンの次世代フロンガス開発に伴う英文技術文章の理解。	
(15)	総括	<input type="checkbox"/> 全体のまとめ	
履 修 上 の 注 意	・ 卓上型の辞書(電子辞書も可)は必須です。・ 進度に応じて授業計画の進度や実施単元は変更する場合があります。		
準 備 学 習 の 内 容	・ 予習、復習に加えて、与えられた課題は必須です。 ・ 毎回授業の最初に前回授業内容に係る単語テストを実施するので復習しておくこと。		
参 考 図 書	アイアコッカ『わが闘魂の経営』など		
学 習 相 談	6 号館 4 階 松中研究室 e-mail: matunaka@kurume-it.ac.jp		
成 績 評 価 方 法	ペーパーテスト 60%、単語テスト 40%。		
関 連 科 目	ベーシックイングリッシュなど		

授業科目名	中級オーラルイングリッシュ	科目コード	12450
英字科目名	Intermediate Oral English	コース名	
科目区分	共通・選択（全学科）	履修学年・学期（セメスター）	4セメスター（2年次・後期）
代表教員	リー・リチャード	単位	2単位
担当教員	リー・リチャード（Richard Lee）		
使用テキスト	Stretch Multi-Pack 1A By Susan Stempleski ISBN 978-0-19-460328-7		
授業の概要	This class will focus on listening, speaking and writing skills necessary for competence in everyday conversations in English. Students will be expected to study vocabulary, take notes, and speak with classmates and the teacher on a variety of topics related to everyday life.		
到達目標	By the end of the course, students will be able to (1) understand a variety of expressions and vocabulary used in spoken English, (2) comprehend details in conversations with native and non-native speakers, and (3) participate in conversations with the teacher and classmates on topics connected to academic, professional and casual everyday life situations.		
授 業 計 画			
講義内容		修得すべき項目	
(1)	Introduction to the course:	To discuss Goals; Rules; Grading; Textbook; Introduction; Orientation to the textbook	
(2)	Jobs I	To learn vocabulary and language essential for talking about jobs.	
(3)	Jobs II	To listen for main ideas, use expressions to show interests, and identify main ideas.	
(4)	Daily Activities I	To learn vocabulary and language essential for talking about daily activities.	
(5)	Daily Activities II	To ask and answer simple present Yes/No questions to continue conversations, brainstorm ideas.	
(6)	Current Situations I	To learn vocabulary and language essential for talking about current life events.	
(7)	Current Situations II	To listen for specific information, guess meaning from context clues, use pictures to make predictions.	
(8)	Review of material	To review material covered in the first 7 weeks of class.	
(9)	Feelings I	To learn vocabulary and language essential for talking about feelings.	
(10)	Feelings II	To listen to identify a speaker's attitude, explain reasons for feeling a certain way, and take notes while listening.	
(11)	Weekend Activities I	To learn vocabulary and language essential for talking about free time.	
(12)	Weekend Activities II	To learn to take turns in a conversation, identify facts and opinions, use pictures to tell a story.	
(13)	Locations I	To learn vocabulary and language essential for talking about locations.	
(14)	Locations II	To guess a location from context, repeat to confirm understanding, understand order of events in a story.	
(15)	Review of material	To review material covered in this course.	
履修上の注意	Students who miss 5 or more classes will not be able to take the final examination.		
準備学習の内容	Students are expected to take notes on and review all material covered in class and preview upcoming material.		
参考図書	Impact conversation by Kristen Sullivan et al., Pearson Longman Publishing		
学習相談	6号館4階 LEE研究室; leera@kurume-it.ac.jp		
成績評価方法	授業態度（50%）、テスト（50%）		
関連科目	オーラルイングリッシュ → 中級オーラルイングリッシュ		

1 授業科目名	上級オーラル イングリッシュ	科目コード	12390
英字科目名	Advanced Oral English	コース名	
科目区分	共通・選択 (全学科)	履修セメスター	3~8セメスター
代表教員	山田 久美	単位	2 単位
担当教員	山田 久美(Kumi YAMADA)		
使用テキスト	Screenplay: Speed (スクリーンプレイ出版)		
授業の概要	名作映画を教材とし、臨場感溢れる生の英会話を習得する。		
到達目標	1. 字幕なしで本物の英語を聴き取ることが可能になる。 2. 日常の英会話を理解し、場面に応じて使えるようになる。 3. 欧米の文化やものの考え方について、より深く理解できるようになる。		
授 業 計 画			
講義内容		修得すべき項目	
(1)	Orientation, Class Rules,	講義の概要、映画の説明	
(2)	Howard Payne	All in English の世界へ一歩踏み出す	
(3)	The Daring Rescue	救助方法について学ぶ	
(4)	Bomb on Bus!	爆弾が仕掛けられたバスに乗ったら：仮定法の学習	
(5)	Stay Above 50	1 マイルとは：換算法の学習	
(6)	Dilemmas	様々な感情表現について習熟する。	
(7)	The 105 Freeway	地図の見方：アメリカを旅する	
(8)	50-Foot Gap: Hung on!	危険標識：いざという時のための緊急表現	
(9)	Tricking Howard	未来を読み解く力を養う	
(10)	Pershing Square	英語でストーリーを作ってみよう	
(11)	Review	これまでの復習	
(12)	An Unfinished Subway	語彙力増幅のためのコツを習得しよう	
(13)	Without any help.	字幕なしでの聴き取りに挑戦	
(14)	Teacher/Students team choice	応用発展演習	
(15)	Final review	総復習	
履修上の注意	全出席することが前提であり、レポート提出が必須である。		
準備学習の内容	毎回事前に規定・指示する範囲を十分に読み込んで理解して講義に臨むこと。		
参考図書	『JACET8000英単語』相澤一美他著 (桐原書店)		
学習相談	6号館4階 山田研究室 e-mail: kumiyama@cc.kurume-it.ac.jp		
成績評価方法	授業態度 (70%)、レポート (30%)		
関連科目	中級オーラル イングリッシュ→ 上級オーラル イングリッシュ		

授業科目名	英語資格試験等対策講座		科目コード	12650
英字科目名	Special English for English Qualification Examinations		コース名	
科目区分	共通・選択(全学科)	履修semester	5~8 semester (3年次・前期~4年次・後期)	
代表教員	松中 完二	単位	2単位	
担当教員	松中 完二 (Kanji MATSUNAKA)			
使用テキスト	<i>Listening Breakthrough for the TOEIC Test</i> (南雲堂)			
授業の概要	英語は国際語として世界中の人々とのコミュニケーションの道具だけでなく、昨今は企業や社会から就職の武器として、または昇進の条件として求められることが少なくない。本講座では英語の文法とリスニングを基礎から重点的に学び、英検取得やTOEICのスコアアップを目指す。			
到達目標	1. 基礎語彙、基本文法復習し、英検3級、TOEICスコア350レベルから更に上位の得点が取得できる。 2. 想定される日常の色々な場面で必要とされる会話ができる。			
授 業 計 画				
講義内容		修得すべき項目		
(1)	Introduction	<input type="checkbox"/> 英検、TOEICについて説明。授業の進め方の説明。		
(2)	Unit 1	ファッションとショッピング。		
(3)	Unit 2	<input type="checkbox"/> 外食。		
(4)	Unit 3	<input type="checkbox"/> 娯楽。		
(5)	Unit 4	<input type="checkbox"/> 住まいと家庭生活。		
(6)	Unit 5	<input type="checkbox"/> メディア。		
(7)	Unit 6	<input type="checkbox"/> 確認テスト その1。		
(8)	Unit 7	<input type="checkbox"/> 旅行と空港。		
(9)	Unit 8	<input type="checkbox"/> ホテル。		
(10)	Unit 9	<input type="checkbox"/> 天気。		
(11)	Unit 10	<input type="checkbox"/> 教育。		
(12)	Unit 11	<input type="checkbox"/> フィットネス。		
(13)	Unit 12	<input type="checkbox"/> 確認テスト その2。		
(14)	Unit 13	<input type="checkbox"/> 出張。		
(15)	Unit 14	<input type="checkbox"/> 生産と販売。		
履修上の注意	授業態度や発表内容も評価の対象となる。講義には各自辞書を持参のこと。			
準備学習の内容	授業での課題、自発的な予習復習を望む。			
参考図書	井上久美『基礎からわかる！中学3年生の英語』(日本能率協会マネジメントセンター)			
学習相談	6号館4階 松中研究室 e-mail: matunaka@kurume-it.ac.jp			
成績評価方法	期末試験 60%、課題や確認テスト 40%で総合的に評価する。			
関連科目	英語コミュニケーションスキル、上級英語他。			
その他	特記事項無し。			

授業科目名	韓国語		科目コード	12620
英字科目名	Korean		コース名	
科目区分	共通・選択	セメスター(履修学年・学期)	5～8セメスター (3年次・前期～4年次・後期)	
代表教員	申鎬(Ho Shin)	単 位	2単位	
担当教員	申鎬(Ho Shin)			
使用テキスト	自作テキスト			
授業の概要	<p>韓国語は、語順や発音など、もともと日本語と類似している言葉です。従って、日本語を母国語とする学習者にとっては、非常に勉強しやすい言語と言えます。本講義では、主に初めて韓国語に接する受講生を対象に、①基礎的な韓国語の仕組みを理解してもらうとともに、②正しい韓国語の発音を見に付けることを目標とします。なお、③旅行などで使えるように、日常の挨拶、簡単な旅行会話、自己紹介など、実践的な会話の練習を行います。必要に応じては、韓国文化・歴史などを紹介しながら、韓国社会の理解に繋がる授業を目指します。</p>			
到達目標	<p>(1) 日本語との共通点や相違点を踏まえて、韓国語の仕組みが理解できる。 (2) ハングル文字とその発音に慣れ親しみ、単語などをゆっくり読めるようになる。 (3) 日常の挨拶及び簡単な旅行会話を適切に使えるようになる。 (4) 自己紹介ができるようになる。</p>			
授 業 計 画				
講義内容		修得すべき項目		
(1)	韓国語の仕組み	<input type="checkbox"/> 韓国語の仕組みを知る		
(2)	文字と発音(1)	<input type="checkbox"/> 基本母音字と拗母音字の学習		
(3)	文字と発音(2)	<input type="checkbox"/> 基本子音字の学習		
(4)	文字と発音(3)	<input type="checkbox"/> 二重母音字の学習		
(5)	文字と発音(4)	<input type="checkbox"/> 激音字と濃音字の学習		
(6)	文字と発音(5)	<input type="checkbox"/> 終声字の学習		
(7)	文字総括	<input type="checkbox"/> これまでの学習内容を復習する。		
(8)	基本会話(1)	<input type="checkbox"/> 基本的な挨拶表現の学習		
(9)	基本会話(2)	<input type="checkbox"/> 丁寧表現の学習		
(10)	基本会話(3)	<input type="checkbox"/> 否定表現の学習		
(11)	基本会話(4)	<input type="checkbox"/> 疑問詞・疑問文の学習		
(12)	基本会話(5)	<input type="checkbox"/> 数字・時間表現の学習		
(13)	自己紹介文を書く	<input type="checkbox"/> 自己紹介をしてみる		
(14)	総括	<input type="checkbox"/> これまでの学習内容を復習する		
(15)	韓国を知る	<input type="checkbox"/> 韓国映画を見る		
履修上の注意	予習と復習を行うこと。出席及び授業態度を重視する。			
準備学習の内容	授業で学習した文字の発音や会話文は必ず復習して、次の授業に備えること。			
参考図書	『入門韓国語(速習編)』申鎬著 花書院			
学習相談	E-mail:shinhojp@gmail.com			
成績評価方法	平常点(出席及び授業態度)40%、期末テスト60%			
関連科目	中国語等(第二外国語)			

授業科目名	中国語		科目コード	12480
英字科目名	Chinese		コース名	
科目区分	共通・選択	セメスター（履修学年・学期）	5～8 セメスター（3 年次・前期～4 年次・後期）	
代表教員	管 虹（Guan Hong）	単位	2 単位	
担当教員	管 虹（Guan Hong）			
使用テキスト	李 偉・管 虹著『1 回 1 課 サクセス中国語』（白帝社）			
授業の概要	中国語の発音、基本文法・文型を学び、理解した上で、挨拶・自己紹介など中国語での簡単な会話をマスターする。			
到達目標	1. 中国語の発音体系が把握できる 2. 中国語で自己紹介することができる 3. 中国語で簡単な挨拶ができる 4. 中国語で簡単な日常会話ができる			
授 業 計 画				
講義内容		修得すべき項目		
(1)	オリエンテーション・発音（1）	<input type="checkbox"/> 中国語に関する基礎知識・単母音・声調・軽声		
(2)	発音（2）	<input type="checkbox"/> 子音		
(3)	発音（3）	<input type="checkbox"/> 複合母音・鼻母音		
(4)	第 1 課 你是日本人吗？	<input type="checkbox"/> 人称代名詞・断定の表現・語気助詞“吗”“呢”		
(5)	第 2 課 你是不是留学生？	<input type="checkbox"/> 反復疑問文・構造助詞“的”・語気助詞“吧”①		
(6)	第 3 課 你们是哪个学院的学生？	<input type="checkbox"/> 指示代名詞・疑問詞疑問文		
(7)	復習	<input type="checkbox"/>		
(8)	第 4 課 你吃什么？	<input type="checkbox"/> 動詞述語文・語気助詞“吧”②		
(9)	第 5 課 我来介绍一下	<input type="checkbox"/> 二重目的語文・“来”“一下”の用法		
(10)	第 6 課 你家有几口人？	<input type="checkbox"/> 所有の表現・数量の表現		
(11)	復習	<input type="checkbox"/>		
(12)	第 7 課 这儿是什么地方？	<input type="checkbox"/> 場所代名詞・存在の表現①		
(13)	第 8 課 你现在在哪儿？	<input type="checkbox"/> 方位詞・存在の表現②		
(14)	第 9 課 汉语难吗？	<input type="checkbox"/> 形容詞述語文・主述語文		
(15)	復習	<input type="checkbox"/>		
履修上の注意	講義の前に、出席を取る。授業中に無断早退するのを欠席とする。			
準備学習の内容	前回学習した内容を復習することと予習すること			
参考図書	『シンプルに中国語』荒川清秀・張筱平・上野由紀子[編] 同学社			
学習相談	e-mail:ruyidxiao@yahoo.co.jp			
成績評価方法	平常点（出席及び授業態度）40%、期末テスト 60%			
関連科目	韓国語等（第二外国語）			

授 業 科 目 名	生涯スポーツ I	科目コード	12500
英 字 科 目 名	Physical Education I	コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通 必修・選択	セメスター(履修学年・学期)	1セメスター(1年次・前期)
代 表 教 員	吉谷 修	単 位	1単位
担 当 教 員	中島 正信(Masanobu NAKASHIMA) 吉谷 修(Osamu YOSHITANI)		
使 用 テ キ ス ト	使用しない		
授 業 の 概 要	個々人の体力に応じて、友人とコミュニケーションを取りつつ、準備から後片付けまで協力しながら、バレーボールの基礎的スキルから応用的スキルの習得を図る。		
到 達 目 標	バレーボールの実践を通して、運動に慣れる中で、友人と協力しながらスポーツを楽しむことができるようになる。		
授 業 計 画			
講 義 内 容		修得すべき項目	
(1)	ガイダンス	<input type="checkbox"/> 授業の基本的な進め方並びに履修上の留意事項	
(2)	パスとトスⅠ	<input type="checkbox"/> オーバーハンドパス	
(3)	パスとトスⅡ	<input type="checkbox"/> アンダーハンドパス	
(4)	パスとトスⅢ	<input type="checkbox"/> バックパス	
(5)	レシーブⅠ	<input type="checkbox"/> 正面でのレシーブ	
(6)	レシーブⅡ	<input type="checkbox"/> 移動してのレシーブ	
(7)	サーブのいろいろ	<input type="checkbox"/> 自分に合ったサーブの仕方	
(8)	スパイクとブロックⅠ	<input type="checkbox"/> オープンスパイク(クロス・ストレート)	
(9)	スパイクとブロックⅡ	<input type="checkbox"/> オープンスパイクへの対応	
(10)	フォーメーション	<input type="checkbox"/> W型サーブレシーブフォーメーション	
(11)	リーグ戦Ⅰ	<input type="checkbox"/> 基本的なルール	
(12)	リーグ戦Ⅱ	<input type="checkbox"/> ポジションと役割	
(13)	リーグ戦Ⅲ	<input type="checkbox"/> 自分に合ったスパイクの仕方	
(14)	リーグ戦Ⅳ	<input type="checkbox"/> スパイクレシーブフォーメーション	
(15)	リーグ戦Ⅴ	<input type="checkbox"/> 審判の仕方	
履 修 上 の 注 意	スポーツ実技に適さない服装の場合、見学または欠席とする。受講生が多数の場合、一部の受講生に対して、生涯スポーツⅢまたはⅣの内容(種目)を実施する場合がある。		
準 備 学 習 の 内 容	普段から自身の健康管理並びに規則正しい生活の維持に努めると共に、次回の講義内容に応じて、技術やルールを調べておくこと。		
参 考 図 書	ぐんぐんうまくなるバレーボール： 蔦宗浩二 2010年ベースボールマガジン社		
学 習 相 談	体育館1階 中島研究室 (nakasima@kurume-it.ac.jp) 体育館1階 吉谷研究室 (yositani@kurume-it.ac.jp)		
成 績 評 価 方 法	授業に取り組む姿勢・態度(60%)、技能の向上(40%)を総合して評価する。		
関 連 科 目	生涯スポーツⅡ、生涯スポーツⅢ、生涯スポーツⅣ、健康科学		

授 業 科 目 名	生涯スポーツⅡ	科目コード	12510
英 字 科 目 名	Physical Education II	コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通 必修・選択	セメスター(履修学年・学期)	2セメスター(1年次・後期)
代 表 教 員	吉谷 修	単 位	1単位
担 当 教 員	中島 正信(Masanobu NAKASHIMA) 吉谷 修(Osamu YOSHITANI)		
使 用 テ キ ス ト	使用しない		
授 業 の 概 要	クラスやチーム内でのコミュニケーションの充実を図りつつ、スポーツ活動全般の組織・運営を行う中で、バスケットボールの基礎的技能から応用的技能の習得を図る。		
到 達 目 標	バスケットボールの実践を通して、積極的に総合的な体力の向上に努める中で、集団的スポーツを組織して実践できるようになる。		
授 業 計 画			
講 義 内 容		修得すべき項目	
(1)	ガイダンス	授業の基本的な進め方並びに履修上の注意	
(2)	シュート&パスⅠ	ゴール下からのシュート・チェストパス(対面)	
(3)	シュート&パスⅡ	近距離シュート・ワンハンドオーバーバウンズパス(対面)	
(4)	ドリブルシュートⅠ(ハーフコート)	45度からのシュート	
(5)	ドリブルシュートⅡ(ハーフコート)	各種ドリブルからのシュート	
(6)	ランニングシュートⅠ(ハーフコート)	パスを受けてのシュート	
(7)	ランニングシュートⅡ(オールコート)	3人でのクリスクロスでのシュート	
(8)	ランニングシュートⅢ(オールコート)	5人でのクリスクロスでのシュート	
(9)	3対3(ハーフコート)	オフェンス・ディフェンスの基本的やり方と基本的ルール	
(10)	5対5(ハーフコート)	オフェンス・ディフェンスの各種やり方とルール	
(11)	リーグ戦Ⅰ	試合の基本的なやり方	
(12)	リーグ戦Ⅱ	試合の進め方と基本的な審判法	
(13)	リーグ戦Ⅲ	基本的なチーム戦術を入れてのゲーム	
(14)	リーグ戦Ⅳ	計画的なチーム戦術を入れてのゲーム	
(15)	リーグ戦Ⅴ	相手チームに応じた戦術を入れてのゲーム	
履 修 上 の 注 意	スポーツ実技に適さない服装の場合、見学または欠席とする。受講生が多数の場合、一部の受講生に対して、生涯スポーツⅢまたはⅣの内容(種目)を実施する場合がある。		
準 備 学 習 の 内 容	普段から自身の健康管理並びにコミュニケーション能力の向上に努めると共に、次回の講義内容に応じて、技術やルールを調べておくこと。		
参 考 図 書	現代スポーツコーチ実践講座5バスケットボール森下義仁他 1982年株式会社ぎょうせい		
学 習 相 談	体育館1階 中島研究室(nakasima@kurume-it.ac.jp) 体育館1階 吉谷研究室(yositani@kurume-it.ac.jp)		
成 績 評 価 方 法	授業に取り組む姿勢・態度(60%)、技能の向上(40%)を総合して評価する。		
関 連 科 目	生涯スポーツⅠ、生涯スポーツⅢ、生涯スポーツⅣ、健康科学		

授 業 科 目 名	生涯スポーツⅢ		科目コード	12520
英 字 科 目 名	Physical Education Ⅲ		コ ー ス 名	3～8セメスター
科 目 区 分	共通・必修（機械） 共通・選択（交通）	セメスター(履修学年・学期)	3セメスター（2年次・前期）	
代 表 教 員	吉谷 修	単 位	1単位	
担 当 教 員	中島 正信(Masanobu NAKASHIMA) 吉谷 修(Osamu YOSHITANI)			
使用テキスト	使用しない			
授 業 の 概 要	クラスやチーム内で、相互の生活習慣に関する情報交換を行いつつ、スポーツ活動全般の組織・運営を行う中で、ソフトボールの基礎的技能から応用的技能の習得を図る。			
到 達 目 標	ソフトボールの実践を通して、生活習慣全般を見直しつつ、週に1回程度のまとまった運動が定期的にできるようになる。			
授 業 計 画				
	講 義 内 容	修得すべき項目		
(1)	ガイダンス	<input type="checkbox"/> 授業の基本的な進め方並びに履修上の留意事項		
(2)	スローイングとキャッチングⅠ	<input type="checkbox"/> グラブの使い方とボールの握り方		
(3)	スローイングとキャッチングⅡ	<input type="checkbox"/> ステップからのキャッチングとスローイング		
(4)	スローイングとキャッチングⅢ	<input type="checkbox"/> ゴロの捕球とスローイング		
(5)	スローイングとキャッチングⅣ	<input type="checkbox"/> フライやライナーの捕球とスローイング		
(6)	バッティングⅠ	<input type="checkbox"/> バットの握り方と立ち方		
(7)	バッティングⅡ	<input type="checkbox"/> ステップとスウィング		
(8)	バッティングⅢ	<input type="checkbox"/> バント		
(9)	ベースランニング	<input type="checkbox"/> ベースの踏み方と走塁コース		
(10)	ピッチング	<input type="checkbox"/> ウィンドミル投法の基礎		
(11)	リーグ戦Ⅰ	<input type="checkbox"/> 基本的なルール		
(12)	リーグ戦Ⅱ	<input type="checkbox"/> 詳細なルール		
(13)	リーグ戦Ⅲ	<input type="checkbox"/> スコアのつけかた		
(14)	リーグ戦Ⅳ	<input type="checkbox"/> 状況に応じたポジショニング		
(15)	リーグ戦Ⅴ	<input type="checkbox"/> 状況に応じた攻撃の仕方		
履 修 上 の 注 意	スポーツ実技に適さない服装の場合、見学または欠席とする。受講生が多数の場合、一部の受講生に対して、生涯スポーツⅠまたはⅣの内容（種目）を実施する場合がある。			
準 備 学 習 の 内 容	普段から自身の健全生活習慣の改善に取り組むと共に、次回の講義内容に応じて、技術やルールを調べておくこと。			
参 考 図 書	ぐんぐんうまくなるソフトボール：利根川勇 2013年ベースボールマガジン社			
学 習 相 談	体育館1階 中島研究室 (nakasima@kurume-it.ac.jp) 体育館1階 吉谷研究室 (yositani@kurume-it.ac.jp)			
成 績 評 価 方 法	授業に取り組む姿勢・態度（60%）、技能の向上（40%）を総合して評価する。			
関 連 科 目	生涯スポーツⅠ、生涯スポーツⅡ、生涯スポーツⅣ、健康科学			

授 業 科 目 名	生涯スポーツⅣ		科目コード	12530
英 字 科 目 名	Physical Education Ⅳ		コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通 選択 (機械)	セメスター(履修学年・学期)	8セメスター (4年次・後期)	
代 表 教 員	中島 正信	単 位	1単位	
担 当 教 員	中島 正信(Masanobu NAKASHIMA) 吉谷 修(Osamu YOSHITANI)			
使 用 テ キ ス ト	使用しない			
授 業 の 概 要	食生活・運動生活・休養の確保といった生活習慣の向上を図りつつ、少人数でも、身近な場所で行いやすい、バドミントン・卓球の基本的な技術や戦術を習得する。			
到 達 目 標	少人数でもできるスポーツの実践を通して、スポーツ環境に恵まれない状況下でも、工夫して、定常的な運動ができるようになる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	ガイダンス	<input type="checkbox"/> 授業の基本的な進め方並びに履修上の留意事項		
(2)	バドミントンⅠ－乱打	<input type="checkbox"/> ラケットの持ち方とシャトルの捕らえ方		
(3)	バドミントンⅡ－ストローク	<input type="checkbox"/> オーバーハンドストロークとサイドアームストローク		
(4)	バドミントンⅢ－サーブとスマッシュ	<input type="checkbox"/> サーブの仕方とスマッシュ・ドロップ		
(5)	バドミントンⅣ－シングルリーグ戦①	<input type="checkbox"/> シングルのルール		
(6)	バドミントンⅤ－シングルリーグ戦②	<input type="checkbox"/> シングルの基本戦術		
(7)	バドミントンⅥ－ダブルスリーグ戦①	<input type="checkbox"/> ダブルスのルール		
(8)	バドミントンⅦ－ダブルスリーグ戦②	<input type="checkbox"/> 基本的なフォーメーション		
(9)	卓球Ⅰ－ラケットの持ち方と乱打	<input type="checkbox"/> ラケットの持ち方とボールの捕らえ方		
(10)	卓球Ⅱ－サーブとレシーブ	<input type="checkbox"/> フォアハンドロングサーブとそのレシーブ		
(11)	卓球Ⅲ－フォアハンドとバックハンド	<input type="checkbox"/> フォアハンドロングとバックハンドハーフボレー		
(12)	卓球Ⅳ－シングルリーグ戦①	<input type="checkbox"/> シングルのルール		
(13)	卓球Ⅴ－シングルリーグ戦②	<input type="checkbox"/> シングルの基本戦術		
(14)	卓球Ⅵ－ダブルスリーグ戦①	<input type="checkbox"/> ダブルスのルール		
(15)	卓球Ⅶ－ダブルスリーグ戦②	<input type="checkbox"/> ダブルスのフォーメーション		
履 修 上 の 注 意	スポーツ実技に適さない服装の場合、見学または欠席とする。受講生が多数の場合、一部の受講生に対して、生涯スポーツⅠまたはⅢの内容(種目)を実施する場合がある。			
準 備 学 習 の 内 容	普段から自身の生活習慣の向上に取り組むと共に、次回の講義内容に応じて、技術やルールを調べておくこと。			
参 考 図 書	基礎からのバドミントン：中田稔 2011年ナツメ社 ぐんぐんうまくなる卓球：西村卓二 2014年ベースボールマガジン社			
学 習 相 談	体育館1階 中島研究室 (nakasima@kurume-it.ac.jp) 体育館1階 吉谷研究室 (yositani@kurume-it.ac.jp)			
成 績 評 価 方 法	授業に取り組む姿勢・態度(60%)、技能の向上(40%)を総合して評価する。			
関 連 科 目	生涯スポーツⅠ、生涯スポーツⅡ、生涯スポーツⅢ、健康科学			

授 業 科 目 名	健康科学		科目コード	12540
英 字 科 目 名	Health and science		コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通 選択	セメスター(履修学年・学期)	4セメスター(2年次・後期)	
代 表 教 員	吉谷 修	単 位	2単位	
担 当 教 員	吉谷 修(Osamu YOSHITANI)			
使 用 テ キ ス ト	使用しない			
授 業 の 概 要	今世紀の「科学的な健康づくり」の時代に応じて、健康の意義と健康づくりの方法について学ぶ。			
到 達 目 標	1. 保健衛生や体力に関する知識を学ぶことにより、心身ともに健康で活動的な健康生活が実践できるようになる 2. 生涯体育の基礎的知識を身につけることにより、多様化する社会に適応できるようになる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	健康とは？ーガイダンスに代えてー	健康の基本的な概念		
(2)	現代社会と健康	健康について考える視点		
(3)	発育・発達と運動	発達段階に応じて必要な運動		
(4)	健康体力づくり運動の基礎理論	オーバーロードの原則		
(5)	運動と骨格	カルシウムの体内での代謝		
(6)	運動処方の実際	運動処方の実践法		
(7)	救急法	AED の使用方法		
(8)	前半のまとめと小テスト①	前半の重点事項		
(9)	休養と健康	睡眠の重要性		
(10)	食事と健康	適正な食生活		
(11)	飲酒・喫煙と健康	アルコール・ニコチン依存症の問題点		
(12)	薬物乱用と健康	薬物乱用の問題点		
(13)	感染症とその防御システム	感染症予防法		
(14)	現代の健康問題	環境問題への対応策		
(15)	後半のまとめと小テスト②	後半の重点事項		
履 修 上 の 注 意	本科目は講義科目であるが、授業の内容に応じて、武道場などを使用して、実践的な学習を行う場合がある。また、適宜小レポートを課す。			
準 備 学 習 の 内 容	適宜プリントを配布するので、配布物を熟読しておくこと。			
参 考 図 書	スポーツと健康：身体運動文化学会 道と書院			
学 習 相 談	体育館1階 吉谷研究室 (yositani@kurume-it.ac.jp)			
成 績 評 価 方 法	毎回の小レポート(3点×13回)、小テスト(30点×2回)を総合して評価する			
関 連 科 目	生涯スポーツⅠ、生涯スポーツⅡ、生涯スポーツⅢ、生涯スポーツⅣ			

授 業 科 目 名	就業力基礎		科目コード	12600
英 字 科 目 名	Basic Job Hunting and Working Ability		コ ー ス 名	
科 目 区 分	共通・必修	セメスター(履修学年・学期)	1セメスター(1年次・前期)	
代 表 教 員	吉谷 修	単 位	2単位	
担 当 教 員	川邊 卓也 (Takuya KAWABE)			
使 用 テ キ ス ト	『SPI3非言語能力検査こんだけ!』(一ツ橋書店)、その他、配付プリント教材			
授 業 の 概 要	(1) 授業の内容について自分で考え、考えを口頭で述べてもらう。(思考力、口述力) (2) 授業の終わりに、100字程度の感想レポートを書いてもらう。(文章表現力) (3) 就職活動の際に必須の基礎的演習をSPIを中心に行ってもらおう。(基礎的計算力)			
到 達 目 標	(1) 上位学年になった時に自分の将来や就職について具体的に考えることができる。 (2) そのために大学生活をいかに有意義に送るかという目的意識を持ち、目標を志向する行動ができる。 (3) 仕事に影響を与える日本や世界の時事問題、動向に関心を持つことができる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	ガイダンス	<input type="checkbox"/> 全体説明 <input type="checkbox"/> SPI模擬テスト		
(2)	働くということ(1)	<input type="checkbox"/> 働く理由を考える <input type="checkbox"/> SPI他		
(3)	働くということ(2)	<input type="checkbox"/> 就職活動を知る・考える1 <input type="checkbox"/> SPI他		
(4)	働くということ(3)	<input type="checkbox"/> 就職活動を知る・考える2 <input type="checkbox"/> SPI他		
(5)	働くということ(4)	<input type="checkbox"/> 企業活動を知る・考える1 <input type="checkbox"/> SPI他		
(6)	働くということ(5)	<input type="checkbox"/> 企業活動を知る・考える2 <input type="checkbox"/> SPI他		
(7)	働くということ(6)	<input type="checkbox"/> 企業活動を知る・考える3 <input type="checkbox"/> SPI他		
(8)	キャリアデザイン(1)	<input type="checkbox"/> 職業人生を描く1 <input type="checkbox"/> SPI他		
(9)	キャリアデザイン(2)	<input type="checkbox"/> 職業人生を描く2 <input type="checkbox"/> SPI他		
(10)	キャリアデザイン(3)	<input type="checkbox"/> 職業人生を描く3 <input type="checkbox"/> SPI他		
(11)	キャリアデザイン(4)	<input type="checkbox"/> 応募書類の実例に学ぶ <input type="checkbox"/> SPI他		
(12)	キャリアデザイン(5)	<input type="checkbox"/> ビジネスマナーの基本を知る1 <input type="checkbox"/> SPI他		
(13)	キャリアデザイン(6)	<input type="checkbox"/> ビジネスマナーの基本を知る2 <input type="checkbox"/> SPI他		
(14)	学ぶということ	<input type="checkbox"/> 学ぶ理由を考える <input type="checkbox"/> SPI他		
(15)	就職についての考え方まとめ	<input type="checkbox"/> 就職活動期までの個人目標を設定する <input type="checkbox"/> SPI他		
履 修 上 の 注 意	次のことを身につけようとして授業に臨むこと。(1) 就職や仕事について考え、自ら職業観を育む。(2) 職業人生における目的と目標を持ち、それを実現しようと努力する。(3) 自分の考えを短い文章で表現する。(4) SPIに対応できる基礎的な計算力を培う。(本シラバスの対象学科は、機械システム工学科、交通機械工学科、情報ネットワーク工学科、教育創造工学科である。)			
準 備 学 習 の 内 容	(1) 次回の授業に向けた課題に対し、自分の考えを用意して授業に臨む。 (2) SPIテキストを活用し、基礎的な計算練習を毎日少しずつ行なう。			
参 考 図 書	『SPI3非言語能力検査こんだけ!』(一ツ橋書店)			
学 習 相 談	講師控室。学生専用 e-mail: kawabe-kit@wcp-jp.com			
成 績 評 価 方 法	毎回の授業での感想レポートと演習50%、期末テスト50%			
関 連 科 目	就業力関係科目			

授業科目名	就業力基礎		科目コード	12600
英字科目名	Basic Job Hunting and Working Ability		コース名	
科目区分	共通・必修	セメスター(履修学年・学期)	1セメスター(1年次・前期)	
代表教員	吉谷 修	単 位	2単位	
担当教員	小田 浩史 (Hiroshi ODA)			
使用テキスト	『SPI 2非言語能力検査こんだけ!』(一ツ橋書店)、その他、プリント配布			
授業の概要	自分の将来について具体的に考えるため、現在の自分と将来ありたい自分をイメージし、現実の環境の中でどう考え、行動すれば目標への道を見つけられるか、ワークを取り入れながら向き合います。現在興味のある将来の就職先に向けて情報収集を進めると共に、自己表現のスキル向上を図ります。			
到達目標	大学進学を目的を再確認し、大学時代が社会に向かうための重要なプロセスであることが認識できる。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	ガイダンス	<input type="checkbox"/> 全体説明 <input type="checkbox"/> SPI他		
(2)	自分の足跡をたどる～大学生活とキャリア①～	<input type="checkbox"/> 自分史の作成/小・中・高校時代に興味・関心を抱いていたことや尊敬していた人物を書き出してみる		
(3)	自分の足跡をたどる～大学生活とキャリア②～	<input type="checkbox"/> 自分史の作成/小・中・高校時代に興味・関心を抱いていたことや尊敬していた人物を書き出してみる		
(4)	自分の夢を叶えるために	<input type="checkbox"/> 自立=自律することの大切さ/目標設定の仕方と実習/時間管理法、手帳の使い方と演習		
(5)	資格、アルバイト、クラブ活動で人間力を高める	<input type="checkbox"/> もし資格にチャレンジしたら/アルバイトでの経験がどう生きるか/上下関係、協調性、先導力		
(6)	コミュニケーション能力向上の秘訣【実践編】	<input type="checkbox"/> マナーとコミュニケーションの関係性/対人コミュニケーションとは/認めるスキルと聴くスキル/ゲームを通じて「会話力」「傾聴力」「質問力」を習得する。		
(7)	就職活動の現場から	<input type="checkbox"/> 卒業後の進路と現在の雇用環境を知る/就職活動のスケジュール(流れ)と、採用手法について理解する		
(8)	仕事を知り、働き方を知る	<input type="checkbox"/> 業界・業種・職種の違い/世の中に存在する多様なキャリアフィールド/各業界の動向を頭に入れておく		
(9)	なりたい職業に就くために	<input type="checkbox"/> インターンシップ/在りたい自分になるために/夢を実現するために必要なこと(就職活動の行動設定)		
(10)	卒業後の自分をイメージする①	<input type="checkbox"/> 入社3～5年目貴校OBの社会人から、学生生活の過ごし方や現在の仕事についての話を聞く		
(11)	卒業後の自分をイメージする②	<input type="checkbox"/> 「なりたい自分」になるためにはどのようなプロセスが必要かを考える/課題の発見		
(12)	自分を表現してみよう①(文章表現)	<input type="checkbox"/> 文章表現の方法とコツを基礎から学ぶ/論文(レポート) 講義作成のポイント/人の心を打つ表現とは		
(13)	自分を表現してみよう②(プレゼンテーション)	<input type="checkbox"/> プレゼンテーションの基本を学ぶ/話す力を磨く/自身の「座右の銘」を自分なりの方法でアピールする		
(14)	自分の将来像を描く～大学生活充実化計画～	<input type="checkbox"/> 講義を通じてイメージされた大学生活の過ごし方や将来の在り方を再確認。実行プランの作成⇒自己宣誓文		
(15)	夏休みの過ごし方・まとめ	<input type="checkbox"/> 夏休みの過ごし方について、各自取り組むべきことを明確にする。本講座の振り返り		
履修上の注意	次のことを身につけようとして授業にのぞむこと。 (1) 大学進学を目的を再確認し、大学時代が社会に向かうための重要なプロセスであることを認識する (2) 自己理解を深め、自身のことを第三者に語るができる(3)SPIを含む基礎的な計算			
準備学習の内容	(1)配布されたプリントを見直す。 (2)基礎的な計算練習を毎日少しずつでも行なう。			
参考図書	『SPI 2非言語能力検査こんだけ!』(一ツ橋書店)			
学習相談	講師控室			
成績評価方法	平常点45点、レポート35点(7回×5点)、課題20点			
関連科目	就業力関係科目			

授業科目名	地域の歴史と課題		科目コード	12630
英字科目名	Regional History and Problems		コース名	
科目区分	共通・必修	履修学年・学期	6 セメスター（3 年次・後期）	
代表教員	異 靖昭	単位	2 単位	
担当教員	異 靖昭（Yasuaki TATSUMI）			
使用テキスト	特に定めず、講義中は配布のプリントを中心に進めます。			
授業の概要	本学の在する久留米は、からくり儀右衛門とよばれたからくり人形で有名な田中久重に始まり、ブリヂストンの創業者石橋正二郎を輩出している土地柄である。地域がどのような歴史と課題を抱えているか理解する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の歴史と課題を理解する。 2. 各自が可能な地域貢献を理解する。 			
授 業 計 画				
講義内容		修得すべき項目		
(1)	地域の歴史 1	地域の歴史理解		
(2)	地域の歴史 2	地域の歴史理解		
(3)	地域の歴史 3	地域の歴史理解		
(4)	地域の歴史 4	地域の歴史理解		
(5)	地域の歴史まとめ	歴史のまとめ		
(6)	地域の課題 1	地域課題の理解		
(7)	地域の課題 2	地域課題の理解		
(8)	地域の課題 3	地域課題の理解		
(9)	地域の課題 4	地域課題の理解		
(10)	地域の課題まとめ	課題のまとめ		
(11)	知識確認テストとその解説	地域の歴史と課題についてその知識の確認テスト		
(12)	課題を踏まえた貢献策 1	貢献策ミーティング		
(13)	課題を踏まえた貢献策 2	貢献策ミーティング		
(14)	貢献策発表 1	発表		
(15)	貢献策発表 2	発表		
履修上の注意	毎回出席して、演習問題を提出する事を義務付けます。演習問題は試験ではないので、学生同士で相談したり、教員（異）に質問して解いたりしても構いません。			
準備学習の内容	授業終了時に示す課題（紙 or e ラーニング）を必ず提出してください。			
参考図書	中村剛治郎著、『基本ケースで学ぶ地域経済学』（有斐閣ブック）2008			
学習相談	6 号館 4F 異研究室			
成績評価方法	講義中課題（40%），知識確認テスト（30%），レポート（30%）			
関連科目	なし			
その他				

授業科目名	地域の農業と工学的アプローチ		科目コード	12640
英字科目名	Regional agriculture and engineering approach		コース名	
科目区分	共通・選択	履修学年・学期	6セメスター（3年次・後期）	
代表教員	白石 元	単位	2単位	
担当教員	複数名（外部講師含む）			
使用テキスト	なし（ノート講義）			
授業の概要	本学の在する久留米は、農業におおきな特色を持っている。地域農業の問題点を把握し工学的にいかに貢献できるかを探る。			
到達目標	地域農業の問題点を把握し、各学科が工学的にアプローチしている課題について理解する。			
授 業 計 画				
講義内容		修得すべき項目		
(1)	地域農業の特色 1	地域農業の理解		
(2)	地域農業の特色 2	地域農業の理解		
(3)	地域農業の特色 3	地域農業の理解		
(4)	地域農業の課題 1	地域農業課題の理解		
(5)	地域農業の課題 2	地域農業課題の理解		
(6)	機械工学的アプローチ	機械システム工学科のアプローチの理解		
(7)	交通工学的アプローチ	交通機械工学科のアプローチの理解		
(8)	情報ネットワーク的アプローチ	情報ネットワーク工学科のアプローチの理解		
(9)	建築設備工学的アプローチ	建築設備工学科のアプローチの理解		
(10)	教育創造工学的アプローチ	教育創造工学科の理解		
(11)	貢献策調査 1	貢献策の調査		
(12)	貢献策調査 2	貢献策の調査		
(13)	貢献策調査 3	貢献策の調査		
(14)	成果発表 1	成果発表		
(15)	成果発表 2	成果発表		
履修上の注意	授業中に理解度を確認するための演習問題を実施し、レポートとして提出を求めることがある。			
準備学習の内容				
参考図書				
学習相談	1号館1階 白石研究室 e-mail: siraisi@cc.kurume-it.ac.jp			
成績評価方法	レポート100%で総合評価			
関連科目				
その他				

授業科目名	工学入門		科目コード	
英字科目名	Introduction to Engineering		コース名	
科目区分	共通・選択	セメスター(履修学年・学期)	2セメスター(1年次・後期)	
代表教員	田代 博之	単位	2単位	
担当教員	全教員			
使用テキスト	プリント配布			
授業の概要	全学科の教員が1コマずつ自分の専門について講義や実験実習を行うことにより、学生は学科の垣根を越えて、幅広く工学の知識を学ぶ。			
到達目標	(1)工学の基本の専門用語を学び、その意味を理解し説明できるようになる。 (2)工学初歩の幅広い知識を身に付ける。 (3)実験実習を体験し、ものづくりへの興味を高める。			
授 業 計 画				
講 義 内 容		修得すべき項目		
(1)	自動車のデジタル開発状況	<input type="checkbox"/> 3次元データによる製品形状の開発状況 <input type="checkbox"/> デジタル化の目的やその効果		
(2)	自動車はなぜ曲がることができるか	<input type="checkbox"/> カーブをスムーズに曲がるために考案されたステアリング装置のしくみ		
(3)	CAD演習	<input type="checkbox"/> SolidWorksを用いた3次元CAD		
(4)	飛行機が安定して飛行するしくみ	<input type="checkbox"/> 行機の各部位の働き <input type="checkbox"/> グライダータイプの紙飛行機を作製		
(5)	センサを使った防犯装置の製作	<input type="checkbox"/> センサを使った防犯装置の製作		
(6)	空気や水による色々な現象を体験	<input type="checkbox"/> 空気や水の流れて生じる現象 <input type="checkbox"/> 空気の圧力		
(7)	ロボット - 過去・現在・未来 -	<input type="checkbox"/> ロボット生産の歴史 <input type="checkbox"/> 将来のロボット像		
(8)	ものづくりと材料	<input type="checkbox"/> 目的に応じた合金と加工 <input type="checkbox"/> 材料の特性		
(9)	3D-CGモデリング	<input type="checkbox"/> 3次元コンピュータグラフィックス		
(10)	VisualStudioによるアプリケーションプログラミング	<input type="checkbox"/> VisualStudioを用いたアプリケーションプログラムを試作		
(11)	人工知能入門	<input type="checkbox"/> 知能表現と簡単な学習 <input type="checkbox"/> ルールベース型エキスパートシステム <input type="checkbox"/> 単純な文字の認識を行うニューラルネットワーク		
(12)	ミスト冷却システム	<input type="checkbox"/> ミスト冷却システムの作製		
(13)	家を支える材料について考える	<input type="checkbox"/> 材料が持つ機械的性質や物理的性質		
(14)	建築パースの制作	<input type="checkbox"/> 建築パースの制作		
(15)	QRコードをExcelでつる	<input type="checkbox"/> QRコードのしくみ <input type="checkbox"/> Excelを利用してQRコードを作成		
履修上の注意	毎回異なる科目の授業が行われ、教室が異なるので、最初に配布の予定表に従い教室へ移動すること。			
準備学習の内容	配布されたプリントは熟読しておくこと。また、専門用語等に関する図や写真をインターネットなどで検索し、専門用語の理解度をより深めること。			
参考図書	工学入門に関する多くの図書や雑誌が図書館に揃っている。			
学習相談	各教員の研究室			
成績評価方法	毎回のレポートで評価			
関連科目	工学入門 → 各学科の専門科目			